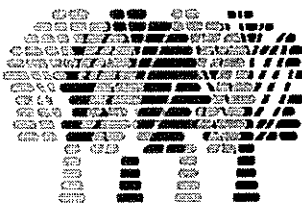


# 令和 2 年度要覧



埼玉県立

歴史と民俗の博物館

Saitama Prefectural Museum of History and Folklore



## 設置の目的・事業

埼玉県立歴史と民俗の博物館設置の目的は、資料の収集、保管及び調査研究を行うとともに、その活用を図ることにより、教育や学術、文化の発展に寄与することにある。

その目的を達成するために、次の事業を行っている。

- 1 郷土埼玉の文化を総合的に捉え、その変遷と発展を知るための歴史及び民俗資料等について調査研究し、収集・保管し、展示する。
- 2 資料を適正に管理するとともに、文化財保存機関としての事業を行う。
- 3 資料の利用に関する必要な解説、案内、指導、助言等を行う。
- 4 資料に関する講演会、講習会、実演会、研究会等を主催し、開催を援助する。
- 5 資料に関する案内書、解説書、図録、調査報告書等を刊行し、頒布する。
- 6 他の博物館、学校その他の関係機関等と協力し、その活動を援助する。
- 7 その他当館の目的を達成するために必要な事業を行う。

## もくじ

埼玉県立歴史と民俗の博物館の使命	1
沿革	2
令和2年度事業計画	3
令和元年度事業報告	14
令和元年度利用者数	27
展示概要等	28
組織及び職員構成	31
施設設備	33
資料	36
利用案内	39



# 埼玉県立歴史と民俗の博物館の使命

## 1 本館の使命

本館は、埼玉の歴史と民俗に関する資料を収集・保管し、総合的に調査研究することにより、埼玉の地域的特性を明らかにし、その成果を展示公開・情報発信するとともに、県民の学習活動や交流の場となることにより、県民各層の心豊かなくらしと新たな文化の創造に寄与する博物館です。

私たちは、博物館に携わるすべてのマンパワーと資源を駆使して、埼玉の魅力をアピールするとともに、県民と協働した生涯学習を推進する中核的生涯学習施設としての役割を果たします。

- 1 県民共有の文化遺産である埼玉の歴史・民俗・美術工芸に関する資料を収集・保管・活用するとともに、調査研究して、次世代に継承します。
- 2 埼玉の歴史と民俗に関する地域的特性を明らかにした調査研究の成果を展示公開するとともに、国内外に情報発信します。
- 3 地域や学校と連携することにより、県民の参画と交流による学習の場として、埼玉の歴史や民俗に関する生涯学習や学校教育を支援します。
- 4 県内の博物館ネットワークの中核的施設として、市町村の歴史・民俗系の博物館を中心に、その事業や活動を支援します。
- 5 ボランティアやミュージアムクルーの育成・活用等を積極的に進めるとともに、様々な事業において、学校や地域社会の幅広い人材と広く連携・協働し、開かれた博物館活動を展開します。
- 6 埼玉の歴史や民俗に関する資料を核にして県民が集い、交流し、活動するやすらぎと潤いのある快適空間を提供します。

### 【 本館の経緯 】

本館は、旧県立博物館と旧県立民俗文化センターを統合し、平成18年4月1日に誕生した歴史、民俗、美術工芸の分野を広域的、総合的、多元的に扱う人文系総合博物館である。

母体となった2館のうち、旧県立博物館は、昭和46年11月、明治4年の埼玉県誕生から100年を記念して、人文系総合博物館として開館した。その後、昭和57年11月の県立近代美術館の開館を機に、展示室を全面的に改装して歴史系博物館に衣替えし、昭和58年11月に新装開館した。

一方、昭和55年11月に開所した旧県立民俗文化センターは、民俗芸能及び民俗工芸を調査研究の対象とする施設として全国に先駆けた存在であった。

その後、平成17年2月に策定された「県立博物館施設再編整備計画」により両館が統合され、収蔵資料はもとより長年培ってきた調査研究の成果を結集して、新たに「埼玉県立歴史と民俗の博物館」として発足した。

## 沿革

### 昭和

- 34年12月 埼玉県立博物館の設置についての請願を  
県議会において採択
- 43年8月 埼玉県立博物館建設基本構想を決定
- 11月 設計を(株)前川國男建築設計事務所へ委託
- 44年9月 博物館建設工事費として13億円を計上
- 10月 県立文化会館を廃止し、新たに県立博物館  
準備事務所を県立浦和図書館内に設置
- 46年11月 埼玉県立博物館条例を制定、開館
- 47年9月 「太平記絵巻(巻第一)」を購入
- 12月 博物館法第11条に基づく登録博物館となる
- 51年1月 文化財保護法第48条に基づく国宝・重要文  
化財の勧告・承認出品の展示館となる
- 52年4月 5月5日(祝)を開館日とする
- 55年4月 4月29日(祝)、5月3日(祝)を開館日  
とする
- 11月 埼玉県立民俗文化センター開所
- 58年11月 埼玉県立博物館新装開館、開館記念特別展  
「武蔵武士」開催
- 12月 国宝「太刀」(銘備前国長船住左兵衛尉景光)  
を購入
- 60年4月 エントランスホール、館庭等を無料開放  
元日を除く国民の祝日を開館日とする

### 平成

- 3年10月 開館20周年記念展「さいたまの名宝」  
開催、記念図録出版
- 5年4月 国宝「短刀」(銘備州長船住景光)を購入
- 6年3月 障害者対応型エレベータ設置
- 6年4月 高齢者(65歳以上)及び障害者等の入館料  
無料化  
幼児コーナー及び休憩コーナーを開設

### 平成

- 7年4月 義務教育終了前の者の入館料無料化
- 10月 「太平記絵巻(巻第七)」を購入
- 8年4月 「太平記絵巻(巻第二)」を購入
- 10年6月 インターネットのホームページ開設
- 11月 当館が「公共建築百選」に選定
- 12年5月 拡大常設展「博物館の広場」開催
- 13年11月 「太平記絵巻(巻第十)」を購入
- 14年5月 2002 FIFA ワールドカップ™ 記念特別展  
「蹴鞠-KEMARI-」開催
- 7月 「太平記絵巻(巻第六)」を購入
- 11月 当館が第4回日本建築家協会25年賞受賞
- 16年10月 清子内親王殿下 お成り
- 18年4月 県立博物館施設再編整備計画により、埼玉  
県立博物館と埼玉県立民俗文化センターを  
統合、埼玉県立歴史と民俗の博物館設置
- 19年3月 関東地区博物館協会初の共同企画展「折り  
の風景-埼玉の絵馬-」開催
- 4月 体験学習施設「ゆめ・体験ひろば」を開設
- 20年3月 大規模改修及び耐震補強工事第I期完了
- 21年10月 交流企画展「出張博物館 in 深谷」開催  
「まなびピア埼玉2009」出展
- 22年2月 大規模改修工事第II期完了
- 23年3月 大規模改修工事第III期完了  
階段昇降機設置
- 24年9月 天皇皇后両陛下 行幸啓
- 25年6月 秋篠宮文仁親王殿下 お成り
- 7月 65歳以上の観覧料減免措置廃止
- 26年8月 入館者累計500万人達成
- 28年2月 特別展示室非構造部材耐震対策工事完了
- 29年3月 南通用門の開放及びゆめ・体験ひろばに自  
動ドアを設置
- 31年2月 Saitama Free Wi-Fi設置、運用開始

# 令和2年度 事業計画

## ◆事業運営の基本方針

### 1 事業運営の方針

平成18年4月、当館は、歴史、民俗、美術工芸の分野を広域的、総合的、多元的に扱う人文系総合博物館である「埼玉県立歴史と民俗の博物館」として再出発して以来、その使命を果たすべく取り組んできた。

令和2年度は、博物館事業の基本となる埼玉の歴史と民俗に関する資料を適切に収集・保存・修復し、総合的に調査研究することにより、埼玉らしさを明らかにする。そしてその成果を展示公開するなど最大限に活用を図り、国内外へ情報発信に努める。学習支援事業を推進し、学校や地域等との連携を深め、県民利用の一層の促進を図る。地域文化及び学術研究施設として、県内の博物館施設のセンター的役割を果たすべく努力する。

さらに、少子高齢化やグローバル化の進展にともない、県民を中心に世界中の人々が誰でも参加できる親しみやすい事業運営に努めるとともに、多様な「人財」の育成並びに生涯にわたる学びを支援できるよう工夫し、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえながら、世代を超えて、すべての人をやさしく迎え、すべての人が楽しめる博物館を目指す。

#### 【主な施策】

- (1) 調査研究に基づく、資料の収集・保管と展示の充実
- (2) 常設展及び特別展・企画展に関わる調査と資料収集、展示の充実
- (3) 県民の学習支援の推進と講座・講習会等の充実
- (4) 学習成果を生かす体験学習・展示解説ボランティア活動の促進
- (5) 高度情報化に対応した広聴・広報活動の充実
- (6) 学校教育・社会教育・地域社会・民間団体等との連携

### 2 事業運営の重点的な取組

- (1) 総合的有害生物管理と資料総点検作業の計画的な実施
- (2) 埼玉の潜在的な文化遺産を活用するための組織的、継続的な調査研究の実施
- (3) 他の博物館・美術館や民間団体との連携による「埼玉ならではの価値」を発信する魅力的な特別展・企画展の開催
- (4) 2021年に延期された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた、おもてなし環境の充実
- (5) 「主体的・対話的で深い学び」を踏まえた学校教育との連携の強化
- (6) 「ミュージアムヴィレッジ大宮公園」連絡協議会等関係機関とのネットワーク機能の充実
- (7) 博物館ホームページの充実やSNSの活用、関係機関等との連携による戦略的広報の推進
- (8) 令和3年度に迎える埼玉県150周年、開館50周年の記念事業に向けた準備

## ◆主要事業計画（令和2年7月1日現在）

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、令和2年2月29日（土）から5月25日（月）まで臨時休館を行うとともに、感染リスクが想定されるイベントを中止した。また、今後の感染状況によっては変更になる場合がある。

### 1 調査研究事業

- (1) 「埼玉の地方文化とその特性－地域文化圏に関する調査研究－」を館職員の調査研究共通テーマとし、その成果を『紀要』に掲載
- (2) 『紀要』第15号の編集、発行
- (3) 文化遺産活用調査事業『無形民俗文化財調査研究事業』『巡り・廻りの民俗行事Ⅱ』の実施
- (4) 文化遺産活用調査事業『歴史遺産調査研究事業』『新編武蔵風土記稿』総合調査の実施
- (5) 次年度開催特別展・企画展に関する調査研究
- (6) 県立博物館8館合同ミュージアムフォーラム 第10回学芸員合同研究発表会への参加

### 2 資料調査事業

- (1) 資料の収集  
埼玉県歴史・文化・伝統を象徴するコレクションの形成・充実に重点を置いた購入・受贈を図り、さらに無形民俗文化財の映像等による記録保存にも努める。
- (2) 資料の整理・保存・管理  
収集した資料を整理し、保存管理に万全を期するため、毎月資料総点検を実施するほか、劣化の進んだ資料については修理を実施する。  
さらに総合的有害生物管理（Integrated Pest Management 略してIPM）を実施して、虫歯害予防のための資料保存・管理及び対策を図る。
  - ・「ねずみ草紙図屏風」ほかの修理
- (3) 埼玉県立の博物館施設収蔵資料データベースの更新を実施する。
  - ・対象施設 歴史と民俗の博物館、さきたま史跡の博物館、嵐山史跡の博物館  
川の博物館
- (4) 館施設の防虫消毒  
第1期 6月10日（水）～6月11日（木） 休館期間 6月8日（月）～6月17日（水）  
第2期 9月14日（月）～9月15日（火） 休館期間 9月14日（月）～9月15日（火）
- (5) 減圧滅菌装置による初発燻蒸  
新規受入資料及び外部借用資料等の減圧滅菌装置による燻蒸殺虫を適宜行い、有害虫及び有害菌の防除に万全を期する。
- (6) 嵐山史跡の博物館・文化財収蔵施設等にある当館所蔵の民俗資料を適切に管理する。

### 3 常設展示事業

メインテーマ：「埼玉における人々のくらしと文化」

#### (1) 展示替え

##### ① 美術展示（第4室）

「女性と美術」	5月26日（火）	～	6月7日（日）
「みほとけの世界」	6月16日（火）	～	9月27日（日）



「歌仙絵の世界」 9月29日(火) ~ 12月13日(日)  
「わざの世界」 12月15日(火) ~ 令和3年3月21日(日)

② 歴史特集展示(第9室) ★は第3室

「往来物・教科書」 5月26日(火) ~ 7月26日(日)  
「銀座復興絵巻」 7月28日(火) ~ 8月30日(日)  
「幕末風刺画」 9月1日(火) ~ 12月13日(日)  
「版木から読む『新編武蔵風土記稿』」 12月15日(火) ~ 令和3年3月21日(日)  
★「国宝 太刀・短刀の公開」 令和3年1月30日(土) ~ 3月7日(日)

③ 民俗コラム展示(第10室)

「はかる道具」 令和元年12月10日(火) ~ 令和2年6月7日(日)  
「和菓子づくりの世界」 6月16日(火) ~ 10月18日(日)  
「北武蔵の農具」 10月20日(火) ~ 令和3年3月31日(水)

④ 季節展示(季節展示室)

特別展・企画展の関連展示や時宜に合ったテーマの小展示などを実施する。

⑤ 定例展示替え

毎月最終月曜日を目安に展示替えを実施。

(2) 国宝・重要文化財の公開

国宝 法華経一品経(ときがわ町・慈光寺) 9月1日(火) ~ 9月27日(日) 第4展示室  
国宝 太刀 令和3年1月30日(土) ~ 3月7日(日) 第3展示室  
国宝 短刀 令和3年1月30日(土) ~ 3月7日(日) 第3展示室  
重文 熊野神社境内古墳出土品(桶川市・熊野神社) 通年 第2展示室  
重文 大般若経(日高市・高麗神社) 5月26日(火) ~ 6月7日(日) 第3展示室  
重文 絹本著色釈迦三尊及阿難迦葉像(越生町・法恩寺)  
6月18日(木) ~ 7月5日(日) 第4展示室  
重文 絹本著色高野明神像・丹生明神像(越生町・法恩寺)  
7月7日(火) ~ 8月7日(金) 第4展示室  
重文 宋版一切経(川越市・喜多院) 7月28日(火) ~ 9月27日(日) 第7展示室  
重文 銅造阿弥陀如来立像(神川町・光明寺)  
9月1日(火) ~ 10月25日(日) 第3展示室  
重文 三十六歌仙額(川越市・仙波東照宮)  
9月29日(火) ~ 12月13日(日) 第4展示室  
重文 雲版(飯能市・長光寺) 10月27日(火) ~ 1月24日(日) 第3展示室  
重文 紙本著色伝貞巖和尚像(久喜市・甘棠院)  
12月22日(火) ~ 1月24日(日) 第5展示室

(3) 重要有形民俗文化財の展示

重民 北武蔵の農具 10月20日(火) ~  
令和3年3月31日(水) 第10展示室

#### 4 特別展・企画展示事業

##### (1) 特別展

名称・開催期間	展示内容
<p>特別展 「銘仙」 令和3年1月2日(土) ～2月14日(日)</p>	<p>明治から大正にかけて絹織物でありながら、実用的な日常着として広まった銘仙。とりわけ新しい文化と染織技術の発展が生んだ、斬新で大胆な銘仙の様子は、多くの女性たちを魅了しました。本展では、当館収蔵資料を中心に、銘仙の歴史を紹介します。 開催日数：39日 展示資料：約100点</p> <p>[関連事業] ・記念講演会 ・展示解説</p>
<p>NHK 大河ドラマ特別展 「青天を衝け～渋沢栄一のまなざし～」 令和3年3月20日(土・祝) ～5月16日(日)</p>	<p>経済人として高く評価されている渋沢栄一は、教育や福祉、国際交流等の分野でも活躍し、日本の近代化に大きな役割を果たしました。新一万円札の肖像やドラマの主人公になるなど注目を集めている郷土の偉人渋沢栄一を多角的に紹介します。 開催日数：52日(令和2年度11日) 展示資料：約100点</p> <p>[関連事業] ・記念講演会 ・展示解説</p>

##### (2) 企画展

名称・開催期間	展示内容
<p>企画展 「新収集品展 2018・2019」 10月10日(土) ～11月23日(月・祝)</p>	<p>当館では、新たに収集した歴史・民俗及び美術資料について、2年に一度、紹介展示を実施しています。今回は平成30年度～令和元年度に収集した資料を紹介します。 開催日数：40日 展示資料：約50点</p> <p>[関連事業] ・歴史民俗講座 日時：11月15日(日) 14:00～15:30 講師：当館学芸員 定員：150名 ・展示解説</p>

(3) 特集展示

「特別展「武蔵国の旗本」を振り返る／太平記絵巻の修理を終えて」

7月18日(土)～9月6日(日)

開催日数：45日

(4) 令和3年度開催予定特別展・企画展の準備

令和3年度に開催する予定の展覧会の準備を進める。

## 5 生涯学習支援事業

### (1) 講座・講習会等の開催

#### ① 歴史民俗講座（5回）

期日：9月19日（土）、11月15日（日）、12月12日（土）、令和2年1月23日（土）  
3月7日（日）各日とも14：00～15：30

対象：一般

定員：各150名（予定）

#### ② 民俗工芸映像の上映

桐箆笥作り

期日：10月10日（土）～11月23日（月・祝）

企画展「新収集品展 2018・2019」会場内で上映

### (2) 実習・研修等の受入れ

#### ① 博物館学芸員実習（7日間）

期間：9月1日（火）～4日（金）及び9～12月中に当館が指定する3日の全7日間

定員：20名

#### ② 博物館見学実習

期間：通年（随時受入れ）

#### ③ 高校生インターンシップ

期間：8月～令和3年2月 2～3日間

#### ④ 教員研修等の受入れ

#### ⑤ 総合的な学習・インターンシップの受入

期間：通年（随時受入れ）

### (3) 学校団体の受入れ

#### ① 学校連携（来館対応）

#### ② 学校連携（出前授業）

期間：通年（随時受入れ）

対象：小・中・高等学校

#### ③ 「主体的・対話的で深い学び」の博物館利用の検討

### (4) デリバリー事業等の実施

#### ① 県政出前講座

#### ② 市町村等連携

### (5) ボランティアの受入れ

#### ① 体験学習ボランティアの育成と運営

#### ② 展示解説ボランティアの育成と運営

ボランティアによる常設展の展示解説を、開館期間中、原則毎日行う。

## 6 ゆめ・体験ひろば事業

### (1) 「ものづくり工房」通常体験メニュー

期日：通年

対象：児童・生徒・一般（未就学児は保護者同伴）

定員：なし、当日受付

#### ① 藍染めハンカチ

#### ② 江戸組紐ストラップ

#### ③ 絵馬

#### ④ 歴史ぬりえ

#### ⑤ 絵巻物

#### ⑥ まが玉

#### ⑦ 浮世絵スリスリマシン

#### ⑧ 季節のミニアート

- ⑨ 編布コースター
- ⑩ コバトンベーゴマ
- (2) 「ものづくり工房」特別体験メニュー
  - ① 木版浮世絵を摺る
    - 期日：9月17日(木)、12月3日(木)
    - 対象：大人
    - 定員：各日6名(各日2回実施・定員各回3名)
  - ② 浪路組のキーホルダーと眼鏡紐作り
    - 期日：10月9日(金)
    - 対象：大人
    - 定員：20名
  - ③ ミニ銅鏡作り
    - 期日：令和3年1月16日(土)
    - 対象：小学生以上
    - 定員：20名(2回実施・定員各回10人)
  - ④ 石踏組の帯締め作り
    - 期日：令和3年2月12日(金)、19日(金)(2回連続)
    - 対象：大人
    - 定員：20名
  - ⑤ 型付け藍染め
    - 期日：令和3年2月27日(土)
    - 対象：大人
    - 定員：12名
- (3) 「昭和の原っぱ」イベント
  - 博物館春まつり～ボン菓子作りの実演
    - 期日：令和3年3月13日(土)
    - 対象：児童・生徒・一般
- (4) その他特別体験事業
  - ① 十二単・小桂と男子装束の着装体験
    - 期日：10月3日(土)、11月28日(土)、令和3年1月9日(土)、3月6日(土)
    - 対象：十二単は大人、小桂は小学生以上、男子装束は高校生以上
    - 定員：各日6名
  - ② 火おこし体験教室
    - 期日：11月7日(土)、12月5日(土)、令和3年2月20日(土)
    - 対象：小学生以上
    - 定員：各日20名(各日4回実施・定員各回5人)
  - ③ お囃子体験教室「さんてこ囃子」
    - 期日：10月17日(土)
    - 対象：小学生以上(未就学児は保護者同伴)
    - 定員：25名
  - ④ ベーゴマ教室
    - 期日：10月24日(土)
    - 対象：小学生以上
    - 定員：30名
  - ⑤ 甲冑の着装体験
    - 期日：令和3年2月13日(土)
    - 対象：小学生以上
    - 定員：18名
- (5) 博物館クルーの育成・活用
  - 「ゆめ・体験ひろば」等の体験メニューや博物館の事業の運営に協力するための高度な技術を

持つ人々を育成し、活用する。

(6) キッズクルーの募集

将来の埼玉文化の継承者や良き博物館利用者の育成及びゆめ・体験ひろば等における子供対象事業への参加促進を図るため、「キッズクルー」の募集を行う。

対象：県内在住の小学生中心

(7) 高齢者・障害者等の利用促進に係る検討

## 7 その他の主催事業

(1) 弥生時代復元住居見学会

期日：11月14日(土・県民の日)

対象：一般

(2) 県民の日イベント

屋台囃子の演奏ほか

期日：11月14日(土・県民の日)

対象：児童・生徒・一般

(3) 正月臨時開館関連事業

① 正月イベント「博物館でお正月」福笑い

期日：令和3年1月2日(土)

対象：児童・生徒・一般

② 正月イベント「博物館でお正月」投扇興

期日：令和3年1月3日(日)

対象：児童・生徒・一般

③ 正月イベント「博物館でお正月」かるた遊びほか

期日：令和3年1月2日(土)～3日(日)

対象：児童・生徒・一般

④ 正月イベント「はくぶつかんで七福神めぐり」(常設展)

期日：令和3年1月2日(土)～3日(日)

対象：一般

(4) 博物館裏方探検隊

普段見ることのできない博物館のバックヤードを学芸員が案内する。

原則毎週土曜日の午後実施 対象：一般 定員：なし

## 8 関係団体・機関との連携等

(1) 埼玉県博物館連絡協議会の運営等(会長・事務局)

① 総会・理事会・研究会・講習会・見学会・研修会等の開催

② ホームページの管理・運営

(2) 関東地区博物館協会の運営(埼玉県代表幹事館)

(3) 全国歴史民俗系博物館協議会の運営(関東ブロック幹事館)

(4) 日本博物館協会の活動(参与)

(5) 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会との連携・交流

(6) 県政出前講座の受け入れ

(7) 埼玉県文化財保護協会等の県内文化財関係団体との共催による講習会・研修会の開催

(8) 「ミュージアムヴィレッジ大宮公園」連絡協議会の運営(会長・事務局)

(9) 首都圏の美術館・博物館共通入館券「ぐるっとパス2020」への参加

(10) 埼玉県訪日教育旅行誘致・受入推進協議会への参加

(11) その他関係団体・民間企業との連携

## 9 広聴広報

### (1) 広聴

- ① 講座・講演会・特別展等アンケート計画の策定と実施
- ② 入館者からの意見聴取計画の策定と実施

### (2) 広報

- ① イベントガイド・博物館だより・ポスターほか
- ② 彩の国だより・県教委だよりほか
- ③ 新聞・雑誌・テレビ・ラジオほか
- ④ インターネット・SNSによる情報発信
- ⑤ 当館ホームページの管理・運営
- ⑥ イベントブース出展、自治会回覧等による地域広報

### (3) レファレンスサービス

## 10 各種印刷物の刊行

### (1) 『紀要』第15号

### (2) 展示図録等

- ① 特別展「銘仙」
- ② 特別展「渋沢栄一」
- ③ 図録「太平記絵巻」
- ④ ブックレット「太平記絵巻」

### (3) その他

- ① 令和3年度イベントガイド
- ② 令和2年度要覧
- ③ 博物館だよりweb版(第43～45号)
- ④ 学校と博物館の連携利用案内(令和3年度版)
- ⑤ 無形民俗文化財調査事業 巡り・廻りの民俗行事調査DVD

## 11 環境整備と施設設備の保全事業

大宮公園の風致と調和した環境の保全及び施設設備の維持管理を図り、広く県民の利用及び資料の保全に万全を期する。

## 12 国際的なイベントに向けた取り組み

2021年に延期された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、おもてなし環境を整備する。

- ① 国内外への情報発信体制の強化
- ② 館内サインなど、外国人に対する受入環境の整備
- ③ 利用者の利便性を考慮した電子決済システムの推進

## 13 埼玉県150周年、開館50周年に向けた準備

令和3年度に埼玉県150周年、開館50周年を迎えるに当たり、記念事業開催に向けての準備を行う。

#### 1.4 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止・延期となった事業

年度当初に予定をしていた事業のうち、7月1日現在で新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止または延期となった事業は以下のとおりである。

##### ○特別展・企画展示事業

##### ・特別展

名称・開催期間	展示内容
<p>特別展 「武蔵国の旗本」 令和2年3月20日（金・祝） ～5月10日（日）  ＜全期間 臨時休館＞</p>	<p>江戸時代、武蔵国には多くの旗本知行所が置かれていました。本展では、旗本の家や知行所内に開基・中興した菩提寺等に伝わる様々な歴史資料や美術品から、かつて埼玉を治めていたお殿様「旗本」の実態に迫ります。 開催日数：47日（令和元年度11日） 展示資料：299点</p> <p>[関連事業]（中止）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記念講演会Ⅰ 「旗本を支えた武蔵の知行地と菩提寺」 期日 3月29日（日） 講師 根岸茂夫氏（國學院大學教授）</li> <li>・記念講演会Ⅱ 「旗本と知行所」 期日 4月19日（日） 講師 野本禎司氏（東北大学助教）</li> <li>・記念講演会Ⅲ 「旗本と将軍」 期日 4月26日（日） 講師 大石 学氏（東京学芸大学名誉教授）</li> <li>・シンポジウム「旗本研究のこれまでとこれから ー埼玉から旗本を考える」 期日 5月 2日（土）</li> <li>・展示解説 期日 4月11日（土）、5月10日（日）</li> </ul>

##### ○生涯学習支援事業

- ・民俗芸能講習会「秩父屋台囃子」（中止）  
期日：7月4日（土）、11日（土）、18日（土）、25日（土）全4回
- ・民俗工芸実演 桶作り（中止）  
期日：5月9日（土）
- ・博物館教育利用セミナー（中止）  
期日：8月4日（火）、8月5日（水）  
対象：小・中・高・特別支援学校教員

##### ○ゆめ・体験ひろば事業

- ・十二単・小桂と男子装束の着装体験（中止）  
期日：4月25日（土）
- ・博物館子どもまつり～射的遊び・兜をかぶろう（中止）  
期日：5月5日（火・祝）



「兜をかぶろう」は5月1日(金)～5月6日(水・休)も開催

- ・ 藍の絞り染め風呂敷作り(中止)  
期日: 5月14日(木)
- ・ 十二単・小桂の着装体験(中止)  
期日: 6月6日(土)
- ・ 甲冑の着装体験(中止)  
期日: 6月20日(土)
- ・ 藍の型染めミニトートバッグ作り(中止)  
期日: 6月24日(水)、25日(木)
- ・ お囃子体験教室「さんてこ囃子」(中止)  
期日: 6月27日(土)
- ・ 夏休み子供組紐教室(中止)  
期日: 7月30日(木)、31日(金)

○その他の主催事業

- ・ 弥生時代復元住居見学会(中止)  
期日: 4月29日(水・祝)

○関係団体・機関との連携等

- ・ 埼玉大学との連携事業「ミュージアムカレッジ」の開催(延期)

○国際的なイベントに向けた取り組み

- ・ 企画展「太平記絵巻」(延期)
- ・ ゆめ・体験ひろばで実施する体験事業の充実に向けた新規メニュー(オリンピック・パラリンピック  
応援絵馬)の実施(延期)

# 令和元年度 事業報告

## 1 調査研究事業

分野ごとの基礎的・分類的・形態学的調査研究、展示・教育・運営等博物館活動の諸分野に関する研究、資料の収集・保存に関する技術的研究など、博物館活動の基礎となる調査研究のほか、次の事業を行った。

- (1) 常設展示資料にかかる資料研究
- (2) 『紀要』第14号の刊行(600部)
- (3) 文化遺産活用調査事業『無形民俗文化財調査研究事業』『巡り・廻りの民俗行事』の実施
- (4) 文化遺産活用調査事業『歴史遺産調査研究事業』『新編武蔵風土記稿』総合調査の実施
- (5) 次年度開催特別展・企画展に関する調査研究
- (6) 県立博物館8館合同企画ミュージアムフォーラム「第9回学芸員合同研究発表会」での発表

## 2 資料の収集・保存・管理事業

常設展示や特別展示等の充実及び歴史系総合博物館にふさわしい魅力あるコレクションを形成するため、資料収集方針及び資料評価会議の指導に基づき資料を収集した。

また、資料の虫菌害対策や、保存環境の整備のため、定期的に清掃を実施した。

### (1) 資料の収集

新規受け入れ資料として29件273点を収集した。

#### ① 購入(16件60点)

・絵葉書(水川神社・秩父)	23点
・時事漫画	11点
・陸軍特別大演習地方行幸警衛配置図 埼玉県ほか	2点
・森玄黄斎画「神号和歌図」	1幅
・揚州周延画「小児乃遊戯」	1点
・関東大震災図	1点
・田崎草画「風雨山水図」	1幅
・太平記理尽図経	6冊
・河越松山之記	1冊
・鳥瞰図(長瀨・秩父観光案内図)	5点
・渋沢栄一関係写真帖	1冊
・江森天壽画「鶉図」	1幅
・江森天淵画「高士観瀑図」	1幅
・歌川国芳画「楠木正成湊川大合戦」	1点
・歌川豊国画「役者木曾街道 本庄」	1点
・歌川国芳画「太平記英雄伝」	3点

#### ② 受贈(13件213点)

・東京オリンピック関連資料	14点
・西角井家資料	11点
・春日部桐箆筒製作道具	97点
・扇風機、ゆで卵器	2点
・早雲堂・田端コレクション	15点
・早雲堂・小熊コレクション	15点
・新篇武蔵風土記稿版木	12点
・蒙古襲来絵詞ほか	15点

・ 渋沢栄一肉声レコード	1点
・ 懐炉	1点
・ 武経要略	6点
・ 埼玉県関係レコード、CD	23点
・ 銅造菩薩形立像	1軀

(2) 資料の整理・保存・管理

① 資料管理

・ IPM委員会の開催	5月14日(火)
・ 収蔵庫定期清掃の実施	月2回(第2・4木曜日)
・ 有害生物生息状況調査の実施	月1回(月末火曜日又は水曜日)
・ 収蔵庫ほか忌避剤散布作業	6月10日(月)～17日(月)
	9月9日(月)～10日(火)
・ 搬入展示資料等の燻蒸	7月29日(月)～30日(火)
	10月1日(火)～2日(水)
	12月17日(火)～18日(水)
	3月10日(火)～11日(水)

② 嵐山史跡の博物館・文化財収蔵施設等にある当館所蔵の民俗資料の管理

・ 収蔵庫定期清掃の実施	5回
・ 有害生物生息状況調査の実施	月1回(月末火曜日又は水曜日)

③ 資料の修理

・ 「平治物語絵詞(摸本)」	1巻
----------------	----

(3) 資料の貸出、特別利用(フィルム等の貸出、資料の熟覧等)

① 貸出	東京国立博物館、府中市郷土の森博物館	10件(45点)
② 特別利用	NHKエンタープライズ、中日新聞岐阜支社ほか	118件(344点)

3 常設展示事業

「埼玉における人々のくらしと文化」をメインテーマに、総合的な視野で時代の推移が理解できるような展示に努めた。また、調査や研究に基づく展示替えや特別公開などにより、展示内容の充実を図った。

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月29日(土)～3月31日(火)まで臨時休館としたため、当該期間については、公開を実施していない。

(1) 展示替え

① 美術展示(第4室)

「金工品」	2月5日(火)～	4月21日(日)
「慈光寺経と小水麻呂経」	4月23日(火)～	6月9日(日)
「観仏三昧」	6月18日(火)～	9月1日(日)
「たてもの・いろいろ」	9月3日(火)～	10月6日(日)
「うた詠む人々」	10月8日(火)～	12月8日(日)
「武士と美術」	12月10日(火)～	令和2年1月19日(日)
「花・いろいろ」	1月21日(火)～	3月8日(日)
「女性と美術」	3月10日(火)～	6月7日(日)

② 歴史特集展示(第9室) ★は第3室

「蓮田出身の政治家・実業家 飯野喜四郎」(埼玉県立文書館と共催)

1月22日(火)～	4月21日(日)
-----------	----------

「渋沢栄一と埼玉の近代」	4月23日(火) ~	10月20日(日)
	当初予定(7月21日まで)から延長	
「戦争と学校」	7月23日(火) ~	10月20日(日)
「国宝 太刀・短刀」★	9月14日(土) ~	11月17日(日)
「江戸のお金」	10月22日(火・祝) ~	令和2年 1月26日(日)
「引札に見る世相」	1月28日(火) ~	3月23日(月)
「往来物・教科書」	3月24日(火) ~	6月 7日(日)

③ 民俗展示 (第10室)

「魚をめぐる信仰」	2月 5日(火) ~	7月21日(日)
「神楽」	7月23日(火) ~	12月 8日(日)
「はかる道具」	12月10日(火) ~	令和2年 6月 7日(日)

④ 季節展示 (季節展示室)

特別展・企画展の関連展示や時宜に合ったテーマの小展示などを実施した。

「特別展 東国の地獄極楽関連」	3月16日(土) ~	5月 6日(月・休)
「収蔵品紹介 清野謙次コレクション」	5月14日(火) ~	7月 7日(日)
「企画展 北沢楽天と時事漫画関連」	7月13日(土) ~	9月 1日(日)
「収蔵品紹介 歴代オリンピックポスター」	9月11日(水) ~	9月29日(日)
「特別展 子ども／おもちゃの博覧会関連」	10月12日(土) ~	11月24日(日)
パネル展示「記念物100年」	令和2年 1月 2日(木) ~	3月15日(日)
「特別展 武蔵国の旗本関連」	3月20日(金・祝) ~	5月10日(日)

⑤ 定例展示替え

毎月最終月曜日を目安に展示替えを実施した。

(2) 国宝・重要文化財の公開

国宝 法華経一品経 (ときがわ町・慈光寺)

4月23日(火) ~ 6月 9日(日) 第4展示室

国宝 太刀

9月14日(土) ~ 11月17日(日) 第3展示室

国宝 短刀

9月14日(土) ~ 11月17日(日) 第3展示室

・関連グッズ販売 当館オリジナル「謙信景光」チケットファイル販売

会期中販売数 285枚

・「刀剣乱舞—ONLINE—」コラボレーション企画

コラボ期間 9月14日(土) ~ 10月11日(金)

「謙信景光 等身大パネル展示」 撮影参加者 761名

重文 絹本著色阿弥陀聖衆来迎図 (熊谷市・常光院)

8月 6日(火) ~ 9月 1日(日) 第4展示室

重文 絹本著色釈迦三尊及阿難迦葉像 (越生町・法恩寺)

令和2年3月10日(火) ~ 4月12日(日) 第4展示室

重文 宋版一切経 (川越市・喜多院)

3月19日(火) ~ 6月 9日(日) 第7展示室

令和2年1月21日(火) ~ 3月 8日(日) 第3展示室

重文 大般若経 (日高市・高麗神社)

令和2年3月10日(火) ~ 4月12日(日) 第3展示室

重文 三十六歌仙額 (川越市・仙波東照宮)

10月 8日(火) ~ 12月 8日(日) 第4展示室

重文 雲版 (飯能市・長光寺) 2月 5日(火) ~ 4月21日(日) 第4展示室

重文 銅造阿弥陀如来立像 (神川町・光明寺)

3月16日(土) ~ 5月6日(月・休) 特別展示室

重文 熊野神社境内古墳出土品 (桶川市・熊野神社) 通年 第2展示室

### (3) 重要有形民俗文化財の展示

北武蔵の農具

6月18日(火) ~ 令和2年6月7日(日) 第10展示室

## 4 特別展示・企画展示事業

当館の主催又は関係団体との共催により、特定のテーマに基づいて資料を収集・構成し、特色ある特別展・企画展を開催した。特に、秋期特別展では、国立民族学博物館との共催による展示を実施した。

### (1) 特別展「東国の地獄極楽」

期 日 平成31年3月16日(土) ~ 令和元年5月6日(月・休)

趣 旨 地獄と極楽の観念は、仏教の死後の世界観として古来人々の関心を集めてきた。本展では中世以降の東国における浄土信仰の広がりについて、埼玉県に関わる美術品や歴史資料を中心に紹介した。

展示資料総数 96点

開館日数 47日

会期中観覧者 9,982名

[関連事業]

- ・らくご会「じごく・ごくらく・らくご会」

期 日 3月24日(日)

出 演 桂 文治氏 (落語家)

参加者 120名

- ・記念講演会「死者のゆくえー往生の思想と美術ー」

期 日 4月13日(土)

講 師 吉村 稔子氏 (神田外語大学教授)

参加者 161名

- ・歴史民俗講座「冥途のみやげー地獄めぐりの美術ー」

期 日 4月27日(土)

講 師 西川 真理子 (当館学芸員)

参加者 156名

- ・展示解説

期 日 3月17日(日)、24日(日)、30日(土)、4月6日(土)、20日(土)、  
27日(土)、29日(月・祝)、5月6日(月・休)

会期中 全8回実施

参加者 計485名

### (2) 企画展「北沢楽天と時事漫画」

期 日 令和元年7月13日(土) ~ 9月1日(日)

趣 旨 新聞の日曜版付録「時事漫画」は、大正10年(1921)、埼玉ゆかりの漫画家北沢楽天が中心となり、創刊された。政治をはじめ、芸能、生活の知恵に至るまで、漫画や写真を多用した記事で人気となった「時事漫画」の魅力を紹介した。

展示資料総数 152点

開館日数 46日

会期中観覧者 4,285名

[関連事業]

- ・記念講演会「日本で初めての漫画家」  
期 日 7月27日(土)  
講 師 あらい 太朗 氏 (漫画家)・高見澤 妙子 氏 (元さいたま市立漫画会館館長)  
参加者 104名
- ・ジュニア博物館講座「はくぶつかんのおしごとたいけん」  
期 日 8月17日(土)  
参加者 21名
- ・特別イベント「漫画家による似顔絵実演」  
期 日 7月20日(土) 松沢 秀和 氏  
参加者 19名  
期 日 8月24日(土) 藤井 龍二 氏  
参加者 11名
- ・展示解説  
期 日 7月21日(日)、8月4日(日)、18日(日)、9月1日(日)  
会期中 全4回実施  
参加者 計65名

(3) 特別展「子ども／おもちゃの博覧会」

期 日 令和元年10月12日(土)～11月24日(日)  
趣 旨 江戸時代から戦後、現代までの玩具を通して、子どもと玩具の関係や子どもをめぐる社会の移り変わりとその意味を紹介した。国立民族学博物館との共催で実施。当館では昭和50年代から現在に至る玩具や、埼玉県ゆかりの資料も紹介し、高齢者から幼児まで幅広い年代の来館者に楽しんでいただいた。

展示資料総数 628点

開催日数 40日(10月12、13日は台風のため臨時休館。実開催日数38日)

会期中観覧者 8,285名

[関連事業]

- ・記念講演会「おもちゃからみる子どもと社会」  
期 日 10月27日(日)  
講 師 是澤 博昭 氏 (大妻女子大学教授)  
参加者 41名
- ・歴史民俗講座「祝いと遊び―儀礼と玩具からみる子どもの世界―」  
期 日 10月19日(土)  
講 師 後藤 知美 (当館学芸員)  
参加者 17名
- ・講座「おもちゃの世界のバリアフリー～人と人をつなぐ「共遊玩具」の極意」  
期 日 10月22日(火・祝)  
講 師 高橋 玲子 氏 (株式会社タカラトミー)  
参加者 14名
- ・バンダイ出前授業プログラム「おもちゃで学ぼう」  
期 日 11月4日(月・休)、11月17日(日)  
講 師 岩村 剛 氏、小林 加奈 氏 (株式会社バンダイ)、当館学芸員  
参加者 計238名
- ・折り紙体験教室「作って遊ぼう 折り紙教室」  
期 日 10月13日(日)※台風により臨時休館・中止  
11月10日(日)  
講 師 当館体験学習ボランティア  
参加者 84名
- ・展示解説  
期 日 10月12日(土)※台風により臨時休館・中止

10月14日(月・祝)、26日(土)、11月9日(土)

会期中 全3回実施

参加者 計44名

(4) 企画展「縄文時代のたべもの事情」

期 日 令和2年1月2日(木)～2月16日(日)

趣 旨 長い氷期が終わり、温暖な気候となった縄文時代には埼玉県にも東京湾が奥深く入り込んでいた。豊かな自然のなかで、多様な道具を生み出すことで、生活を営んでいた。土器や石器、木製品などの資料から当時の人々の食事情や、自然との関係を紹介した。

展示資料総数 500点

開館日数 41日

会期中観覧者 6,044名

[関連事業]

- ・記念講演会 「縄文時代の野生植物利用と外来栽培植物」

期 日 1月19日(日)

講 師 工藤 雄一郎 氏 (学習院女子大学准教授)

参加者 144名

- ・歴史民俗講座 「埼玉にもいた！狩猟採集民」

期 日 2月1日(土)

講 師 尾崎 沙羅 (当館学芸員)

参加者 141名

- ・展示解説

期 日 1月2日(木)、12日(日)、26日(日)、2月2日(日)、16日(日)

会期中 全5回実施

参加者 計179名

- ・土器クッキーの販売

期 日 1月18日(土)、19日(日)、25日(土)、26日(日)、  
2月1日(土)、2日(日)、15日(土)、16日(日)

※県立入間わかかさ高等特別支援学校の生徒が縄文土器をイメージして作ったクッキーを販売

(5) 特別展「武蔵国の旗本」

期 日 令和2年3月20日(金・祝)～5月10日(日)

趣 旨 江戸時代、武蔵国には多くの旗本知行所が置かれていた。本展では、旗本の家や知行所内に開基・中興した菩提寺等に伝わる様々な歴史資料や美術品から、かつて埼玉を治めていたお殿様「旗本」の実態に迫った。

展示資料総数 299点

開館日数 0日(予定47日) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため全期間休館

会期中観覧者 0名

[関連事業] ※新型コロナウイルス感染拡大防止のためすべて中止

- ・記念講演会Ⅰ 「旗本を支えた武蔵の知行地と菩提寺」

期 日 3月29日(日)

講 師 根岸 茂夫 氏 (國學院大學教授)

- ・記念講演会Ⅱ 「旗本と知行所」

期 日 4月19日(日)

講 師 野本 禎司 氏 (東北大学助教)

- ・記念講演会Ⅲ 「旗本と将軍」

期 日 4月26日(日)

講 師 大石 学 氏 (東京学芸大学名誉教授)

- ・シンポジウム「旗本研究のこれまでとこれから ―埼玉から旗本を考える」

期 日 5月2日(土)

※ 国立歴史民俗博物館共同研究「番方旗本家に関する総合研究」と共催

・展示解説

期 日 4月11日(土)、5月10日(日)

## 5 生涯学習支援事業

### (1) 講座・講習会等の開催

#### ① 歴史民俗講座

・「冥途のみやげ―地獄めぐりの美術―」

期 日 4月27日(土)

講 師 西川 真理子(当館学芸員)

参加者 156名

・「中世の利根川水運と河川普請」

期 日 6月8日(土)

講 師 新井 浩文(当館学芸主幹)

参加者 129名

・「修理と表装―太平記絵巻の修理事業を中心に―」

期 日 8月3日(土)

講 師 池田 伸子(当館主任学芸員)

参加者 40名

・「祝いと遊び―儀礼と玩具からみる子どもの世界―」

期 日 10月19日(土)

講 師 後藤 知美(当館学芸員)

参加者 17名

・「博物館の資料保存」

期 日 12月14日(土)

講 師 濱田 翠(当館学芸員)

参加者 27名

・「埼玉にもいた！狩猟採集民」

期 日 2月1日(土)

講 師 尾崎 沙羅(当館学芸員)

参加者 141名

#### ② 民俗芸能講習会「おかめひょっとこの舞」

・期 日 6月2日(日)、9日(日)、23日(日)、30日(日) 全4回

参加者 延べ135名

#### ③ 民俗工芸実演

・刀身彫刻

期 日 9月28日(土)

講 師 橋本 琇巴氏

参加者 122名

・唐紙製作

期 日 1月13日(月・休)

講 師 小泉 幸雄氏・小泉 雅行氏

参加者 81名

#### ④ ジュニア博物館講座「はくぶつかんのおしごとたいけん」

期 日 8月17日(土)

参加者 21名

#### ⑤ 第9回学芸員合同研究発表会ミュージアムフォーラム

期 日 1月18日(土)

講 師 町田 歩未(当館学芸員)「木本作物農業の産地展開と現況

―「家産として受け継がれる木本作物」―



濱田 翠 (当館学芸員)「絵絹の科学的調査」

参加者 113名

(2) 実習・研修等の受入

① 博物館学芸員実習

6月20日(木)～21日(金)、25日(火)～28日(金)及び7月31日(水)～9月1日(日)の土曜、日曜、祝日のうちの1日の全7日間

桜美林大学など21大学 42名

② 博物館見学実習

駒澤大学など9大学 152名

③ 中学生職場体験

さいたま市立田島中学校など6校25名 延べ17日間

④ 高校生インターンシップ

8月27日(火)～	28日(水)の2日間	星槎学園高等部 大宮校	2名
10月 9日(水)～	11日(金)の3日間	県立蓮田松韻高等学校	3名
12月 3日(火)～	5日(木)の3日間	日々輝学園高等学校	3名
1月28日(火)～	31日(金)の4日間	県立大宮商業高等学校	5名

⑤ 大学生インターンシップ

9月3日(火)～6日(金)の4日間

大東文化大学など5校5名

⑥ 教員向け研修の受け入れ(教育利用セミナー)

・越谷市小中学校教員初任者研修

期日 5月7日(火)、8日(水)、10日(金) 参加者 52名

・教育利用セミナー

期日 8月1日(木)、2日(金) 参加者 6名

・教育利用セミナー(団体)

期日 7月26日(金) 参加者 10名

・第71回 歴史教育者協議会

期日 8月4日(日) 参加者 43名

⑦ その他研修の受け入れ

・高校教員5年次経験者社会貢献活動研修

期日 8月7日(水) 参加者 1名

・高校社会科研究会研修

期日 7月9日(火) 参加者 12名

・埼玉県小学校教員初任者研修

期日 9月27日(金)、10月1日(火) 参加者 61名

・埼玉県中学校教員初任者研修

期日 9月19日(木)、9月26日(木) 参加者 61名

(3) 学校団体の受け入れ

① 学校連携(来館対応)

小学校77校(特別支援学級のみ2を含む)、中学校13校(特別支援学級のみ8を含む)、高校5校、特別支援学校8校、幼稚園3園、その他学校関係(教育相談室1、大学1)2団体計108校

② 学校連携(出前授業)

上尾市立瓦葺小学校など 25件 参加者 2,365名

(4) デリバリー事業等

① 県政出前講座

星和市民講座など 2件 参加者 33名

② 講座・講演講師派遣

足立区立郷土博物館など 20件 参加者 1,767名

(5) ボランティアの受け入れ

① ボランティア活動、養成講座

ア ボランティア活動

- ・体験ボランティア 70名登録

まが玉づくり・絞り藍染めハンカチ・組紐ストラップ・着装体験及び学校団体などの体験学習指導補助、スキルアップ研修等

延べ活動日数 284日 延べ活動人数 1,689名

- ・展示解説ボランティア 68名登録

常設展の展示解説を開館期間中毎日実施したほか、県が所蔵する埋蔵文化財を活用し、展示室入り口で土器・石器類ハンズ・オン解説も実施した。

延べ活動日数 284日 延べ活動人数 1,301名

イ ボランティア研修

博物館ボランティア応募者を対象とした、ボランティア養成のための専門的講座及び実践的な研修を実施した。

- ・体験ボランティア 延べ開催日数 8日 延べ参加人数 77名
- ・展示解説ボランティア 延べ開催日数 8日 延べ参加人数 100名

## 6 ゆめ・体験ひろばの運営

それぞれ特色のある機能と設備を持つ3つのエリアで、地域の文化資源を活用した博物館ならではの多様な体験プログラムを、子どもから高齢者、初心者からリピーターまでさまざまな参加者を対象に実施した。

(1) 「ものづくり工房」通年メニュー

① 藍染めハンカチ	2,975名
② 江戸組紐ストラップ	880名
③ 絵馬	282名
④ 歴史ぬりえ	84名
⑤ 絵巻物	508名
⑥ まが玉	3,399名
⑦ 浮世絵スリスリマシン	461名
⑧ 季節のミニアート	1,105名
⑨ 編布コースター	140名
⑩ コバトンベーゴマ	59名
合計	9,893名

(2) 「ものづくり工房」特別体験メニュー

① 藍の絞り染めTシャツ作り		
期日	5月17日(金)	参加者 19名
② 藍の型染めトートバック作り		
期日	6月26日(水)	参加者 20名
期日	27日(木)	参加者 20名
③ 江戸組紐キーホルダーと眼鏡紐作り		
期日	10月11日(金)	参加者 20名
④ 木版浮世絵を摺る		
期日	7月18日(木)	参加者 10名
期日	1月23日(木)	参加者 8名
⑤ ミニ銅鏡作り		
期日	1月18日(土)	参加者 20名
⑥ 江戸組紐帯締め作り		
期日	2月14日(金)・21日(金)	参加者 20名

- ⑦ 型付け藍染め  
期 日 2月29日(土)

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館したことに伴い中止

(3) 「昭和の原っぱ」イベント

- ① 博物館子供まつり  
兜をかぶろう  
期 日 5月 1日(水)～5月6日(月) 参加者 435名  
射的あそび  
期 日 5月 5日(日・祝) 参加者 213名
- ② 紙芝居実演  
期 日 11月14日(木) 参加者 223名
- ③ 博物館春まつり  
ボン菓子作り  
期 日 3月14日(土)

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館したことに伴い中止

(4) その他の特別体験事業

- ① 十二単・小桂と男子装束の着装体験  
期 日 4月20日(土) 参加者 14名  
期 日 10月 5日(土) 参加者 14名  
期 日 1月11日(土) 参加者 12名
- ② 十二単・小桂の着装体験  
期 日 6月 8日(土) 参加者 11名  
期 日 11月30日(土) 参加者 13名  
期 日 3月 7日(土) 中止
- ③ 甲冑の着装体験  
期 日 5月25日(土) 参加者 13名  
期 日 2月15日(土) 参加者 18名
- ④ お囃子体験教室  
期 日 6月29日(土) 参加者 15名  
期 日 11月 9日(土) 参加者 18名
- ⑤ 夏休み子ども組紐教室  
期 日 7月23日(火) 参加者 6名  
期 日 7月26日(金) 参加者 6名
- ⑥ 火おこし体験教室  
期 日 11月 2日(土) 参加者 17名  
期 日 12月 7日(土) 参加者 18名  
期 日 2月22日(土) 参加者 22名
- ⑦ ベーゴマ教室  
期 日 10月19日(土) 参加者 31名

7 その他の主催事業

- (1) 弥生時代復元住居見学会  
期 日 4月28日(日)、11月14日(木・県民の日)  
参加者 計 223名
- (2) 正月臨時開館関連事業  
① 「博物館でお正月」福笑い  
期 日 1月2日(木)  
参加者 22名

- ② 「博物館でお正月」投扇興  
期 日 1月3日(金)  
参加者 77名
  - ③ 「博物館でお正月」かるた遊び  
期 日 1月2日(木)～3日(金)  
参加者 58名
  - ④ 正月イベント「はくぶつかん七福神めぐり」(常設展)  
期 日 1月2日(木)～5日(日)
- (3) 博物館裏方探検隊  
原則、毎週土曜日に博物館のバックヤードを紹介した。(延べ51回 参加者447名)

## 8 関係団体・機関との連携等

- (1) 埼玉県博物館連絡協議会(会長)・運営等(事務局)
  - ① 総会・研究会・講演会・見学会・県外研修会・役員会等の開催
  - ② 「埼玉県博物館連絡協議会 2019加盟館園マップ」の作成(20,000部)
  - ③ ホームページの管理・運営
- (2) 関東地区博物館協会の運営等(副会長・埼玉県代表幹事館)
  - ① 総会・理事会・研究会等への参加 令和元年度会長・事務局(千葉県)への引継
  - ② 埼玉県内加盟館との調整
- (3) 全国歴史民俗系博物館の運営(事務局)  
全国歴史民俗系博物館協議会関東ブロック集会の準備・運営
- (4) 日本博物館協会(参与)  
全国博物館大会等への参加
- (5) 「博物館友の会」との連携・共催事業の実施
  - ① 講演会
    - ・「海の正倉院・沖ノ島」  
期 日 4月21日(日)  
講 師 梶山 林繼 氏(國學院大學名誉教授・祭祀考古学会会長)  
参加者 182名
    - ・「戦勝祈願にみる戦国大名の宗教観」  
期 日 5月25日(土)  
講 師 神田 千里 氏(東洋大学文学部教授)  
参加者 126名
    - ・「詳説『とっとり弥生の王国』～『地下の弥生博物館』青谷上寺地遺跡と『甦る弥生の国邑』妻木晩田遺跡を中心に～」  
期 日 7月7日(日)  
講 師 水村 直人 氏(鳥取県地域振興部文化財課歴史遺産室 文化財主事)  
参加者 138名
    - ・「葛西城発掘によって明らかにされた北条氏と上杉氏の攻防」  
期 日 9月29日(日)  
講 師 谷口 榮 氏(葛飾区観光課主査学芸員)  
参加者 141名
    - ・「南鴻沼遺跡にみる縄文人の暮らし」  
期 日 12月15日(日)  
講 師 小倉 均 氏(岩槻郷土資料館学芸員)  
参加者 108名
    - ・「中世武士と馬」  
期 日 2月23日(日)

講師 長塚 孝 氏 (馬の博物館学芸員)

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館したことに伴い中止

② プレミアム講座

・「地獄極楽めぐりの美術」

期 日 7月30日 (火)

講 師 西川 真理子 (当館学芸員)

参加者 45名

・『復興の足かせ』から『地域の宝』へ～震災復興と埋蔵文化財の調査～

期 日 9月20日 (金)

講 師 堀口 智彦 (当館学芸員)

参加者 35名

・「祝いと遊びー儀礼と玩具からみる子どもの世界ー」

期 日 11月12日 (火)

講 師 後藤 知美 (当館学芸員)

参加者 25名

・「埼玉にもいた！ 狩猟採集民」

期 日 1月29日 (水)

講 師 尾崎 沙羅 (当館学芸員)

参加者 66名

・「妖怪談義ー河童で読み解く民俗学ー」

期 日 3月11日 (水)

講 師 二階堂 実 (当館主任専門員兼学芸員)

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館したことに伴い中止

(6) 「ミュージアムヴィレッジ大宮公園」魅力アップ地域活動事業の実施

平成23年度に近隣9施設で活動を開始した「ミュージアムヴィレッジ大宮公園」連絡協議会による連携事業として、下記の事業を実施した。

スタンプラリーの実施

期 日 11月11日 (月) ～2月11日 (火・祝)

参加者 4,676名

(7) 連携事業等

① 東日本旅客鉄道株式会社大宮支社と連携事業を実施

・「川越・さいたま ビビビッめぐり」の会場として参加

期 日 12月1日 (日) ～3月31日 (火)

・駅からハイキング「盆栽のまち大宮 のんびり散歩」の会場として参加

期 日 2月1日 (土) ～2月16日 (日)

② 一般社団法人埼玉県物産観光協会と連携し、企画展「縄文時代のたべもの事情」に関連して

「貝塚ツアー」の見学会場として参加

期 日 1月25日 (土)

③ 埼玉県訪日教育旅行誘致・受入推進協議会への参加

(8) その他事業の共催

① 文化財講習会 共催団体：埼玉県教育委員会、埼玉県文化財保護協会

期 日 7月24日 (水)・25日 (木)

参加者 262名

② 文化財レスキュー・防災研修会

共催団体：埼玉県文化財保護協会、埼玉県地域史料保存活用連絡協議会

期 日 2月12日 (水)

参加者 74名

## 9 広聴広報

### (1) 広聴

- ① 特別展・企画展等のアンケートの実施
- ② 博物館利用者アンケートの実施  
利用者アンケートの結果をフィードバック

### (2) 広報

- ① 当館刊行物、県刊行物による広報のほか、新聞・雑誌・テレビ・ラジオ等による広報を積極的に行うとともに、インターネット・SNSによる情報発信を行った。
- ② 「大盆栽まつり」、「大宮区民ふれあいフェア」、「北区民まつり」「芸術文化ふれあいフェア」に出展し、広報を行った。
  - ・大盆栽まつり 5月 3日(金・祝)～5日(日・祝)
  - ・大宮区民ふれあいフェア 10月26日(土)
  - ・北区民まつり 11月 3日(日)
  - ・芸術文化ふれあいフェア 11月24日(日)

### (3) レファレンスサービス(188件)

博物館の利用に関する相談、埼玉の歴史・考古・民俗・美術に関する学習相談、情報提供、特別展・企画展・常設展の内容等照会、体験学習の指導・助言等の実施。

## 10 令和元年度印刷刊行物一覧

(1) 『紀要』第14号	600部
(2) 展示図録等	
特別展「子ども／おもちゃの博覧会」図録	1,600部
特別展「武蔵国の旗本」図録	1,700部
(3) 令和2年度イベントガイド	45,000部
(4) 令和元年度博物館要覧	550部
(5) 博物館だより web版(第40～42号)	
(6) 「見学のしおり」(中国語繁体字・中国語簡体字・ハングル)	7,500部
(7) 学校と博物館の連携・利用案内(令和2年度版)	7,500部
(8) 無形民俗文化財調査事業 巡り・廻りの民俗行事調査総括報告書Ⅰ	550部
(9) 無形民俗文化財調査事業 巡り・廻りの民俗行事調査 DVD	200部

## 11 環境整備と施設設備の保全事業

大宮公園の風致と調和した環境の保全及び施設設備の維持管理を図り、広く県民の利用及び資料の保全に万全を期した。

- (1) 防災訓練(消防、地震) 7月17日(水)、3月10日(火)
- (2) 自家用電気工作物電気保安検査 11月25日(月)
- (3) 施設設備の保守業務委託、小破修繕の実施

# 令和元年度 利用者数

	開催 日数	利用者 合計 (A+B)	入館者数(A)							特別展 企画展 観覧者	(D)の参考		
			合計 (C+D)	合計 (E+F)	展示室観覧者(C)		入場者数 (D)	館外 活動 参加者 (E)	講座等 参加者		ゆめ体験参加者		
					有料(E)	無料(F)							
												小計	小計
4月	26	14,386	14,212	4,945	3,624	1,695,450	1,321	9,267	174	469	4,476	958	3,216
5月	28	15,835	12,632	5,280	3,661	1,578,800	1,619	7,352	3,203	2,224	3,056	991	3,268
6月	20	6,338	5,902	1,537	851	224,150	686	4,365	436	1,537	-	384	1,613
7月	27	7,119	7,071	2,491	1,373	366,800	1,118	4,580	48	951	1,540	686	1,764
8月	28	8,660	8,267	3,149	1,786	528,200	1,363	5,118	393	581	2,568	171	2,811
9月	26	8,221	7,914	2,647	1,724	475,350	923	5,267	307	2,470	177	506	2,081
10月	26	11,542	10,714	5,274	2,106	761,450	3,168	5,440	828	2,115	3,159	266	3,782
11月	27	16,507	13,668	6,582	2,607	1,096,600	3,975	7,086	2,899	1,456	5,126	993	4,865
12月	24	5,947	5,707	1,626	808	213,400	818	4,081	240	1,626	-	196	1,747
1月	27	10,682	9,733	4,023	2,353	750,300	1,670	5,710	949	262	3,761	850	3,064
2月	25	8,938	8,472	2,981	1,857	584,100	1,124	5,491	466	698	2,283	523	2,262
3月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年度計	284	114,175	104,292	40,535	22,750	8,274,600	17,785	63,757	9,883	14,389	26,146	6,524	30,473

※1 館外活動(B)の主な内容…出前授業や展覧会参加  
 ※2 入場者数(D)の主な内容…無料スペースを計った数、ゆめ体験参加者、講座等参加者

## 展示概要等

### ■屋外展示

館庭は縄文時代と弥生時代の遺跡で、一部が県指定史跡となっている。発掘調査の成果をもとに弥生時代の竪穴住居を復元しており、その背後にある方形周溝墓は弥生時代後期の有力者の墓である。

### ■常設展示—埼玉における人々のくらしと文化—

常設展示のメインテーマは「埼玉における人々のくらしと文化」である。歴史を常に庶民の立場から見ていくという思想で貫き、庶民の力強さをダイナミックに表現することを基本姿勢としている。また、「見せる博物館」から「見る博物館」へ、「教える博物館」から「自ら学ぶ博物館」へをタッチフリーズに、資料や研究データを通して観覧者と博物館が共に考えていこうという展示構成となっている。

#### プロローグ 大地に読む歴史

エントランスロビーの天井に届くようにそびえるのは、さいたま市大宮区の寿能泥炭層遺跡で確認された土層の模式断面である。各時代の遺物が出土状況に合わせてはめこまれ、各層の年代と各展示室で展開される展示内容とが対比できる歴史年表となっている。各展示室の入口には、この土層の断面をデザイン化した色別のパネルがあり、観覧の時間軸として利用できるようになっている。

#### 第1展示室 旧石器～弥生時代

常設展示のはじまりは、埼玉の地にいつから人類が住み始めたかを考えるコーナーである。武蔵野台地や大宮台地を中心とした遺跡や出土遺物から旧石器文化を紹介する。内陸深く入りこんだ“奥東京湾”の周辺から出土した土器・漆器・木製品などから縄文人のくらしを表現している。大陸から伝えられた稲作や新たな技術はやがて東国にも達する。コメづくりのムラが営まれ、ムラとムラをたばねる首長が成長していく弥生時代を、東日本の出土遺物の比較や方形周溝墓などから表現している。

#### 第2展示室 古墳時代

古墳時代における畿内文化の伝播や大和政権を中心とする国づくりの様子、豪族・農民の生活を紹介する。埼玉（さきたま）古墳群の稲荷山古墳から出土した辛亥（しんがい）銘鉄剣（国宝）に刻まれた文字は、国づくりの過程で北武蔵地方の豪族が大王を補佐する役割を果たしたことを物語っている。当時の武器・武具・馬具や埴輪などを通して、大和政権による国づくりに果たした東国の“杖刀人（じょうとうじん）”＝武人の役割に焦点をあてた。また、鉄製の農具や工具など新技術を摂取して開発を進めていった人々の生活を取り上げている。

#### 第3展示室 奈良～南北朝時代

「武蔵武士」を基本テーマとする。ここではまず、発掘資料を用いて、律令制下における支配や人々の暮らしに関する展示を行う。平安時代に地方支配が動揺すると、各地で武装した領主層が台頭し始める。こうしたなか、県域では武蔵武士が登場する。その台頭過程や活躍ぶり、信仰や日常生活の様子などについて、工芸品・絵巻物・古文書・発掘資料などを使って紹介する。

#### 第4展示室 美術展示室

埼玉県の歴史の流れ（通史）の中では紹介しきれない優れた美術工芸品を、「博物館の中の小さな美術館」である本室で集中的に紹介する。様々な作品を通して美の世界の広がり提示する。



## 第5展示室 室町～戦国時代

室町・戦国時代の北武蔵では、室町幕府と鎌倉府、戦国大名などの間で戦乱が繰り返された。ここでは、こうした「乱世」を生き延びた人々の姿をクローズアップする。歴史を彩る武將を輩出した古河公方足利氏・太田氏・後北条氏という3家について、工芸品・古文書などを用いて紹介するとともに、この時代の戦争を特徴づけた「足軽」と呼ばれる雑兵についても展示を行う。あわせて、中世における人々の暮らしと文化を取り上げる特集コーナーを設け、展示内容の充実を図っている。

## 第6展示室（展示ホール） 板碑

鎌倉から戦国時代末期にかけて盛んにつくられた板碑には、長い戦乱の中で暮らした人々の多くの願いが込められている。荒川上流で産出する緑泥片岩を用いた武蔵の板碑は質量ともに全国一を誇り、武蔵武士の名が刻まれているものも少なくない。ここでは、それらの中から我が国最大・最小のもの、最古のものをはじめ、県内の代表的な板碑を紹介している。また、ときがわ町の慈光寺の開山塔は、室町時代初期の建築様式を伝える我が国現存最古の木造宝塔といわれており、その復原資料を展示している。

## 第7展示室 江戸時代Ⅰ

江戸幕府のお膝元となった埼玉における支配の特色を、大名・旗本などの領主とその農民支配の在り方、交通・宗教・文化などの制度を通して紹介する。領主については、川越・忍（行田）・岩槻・岡部に配置された大名と旗本に関する資料や城の模型を中心に展示している。農民の支配については、年貢制度や、日常生活の規制などを高札や古文書により表現している。また、中山道や日光道中、利根川に設けられた関所の様子、幕府の寺院統制やキリシタン禁制、学芸、科学、民間信仰などを取り上げている。

## 第8展示室 江戸時代Ⅱ

江戸時代の埼玉は、河川改修や用水路等の整備などにより、耕作地が増えて米の収穫量は増大した。そして、河川交通の発達とともに、各地で地場産業が盛んとなり、商品作物も作られるようになった。こうした様子を見沼代用水構造図や高瀬船模型・藍玉・紅餅・茶甕・運賃定書などを通して紹介している。また、幕藩体制が大きくゆらぎはじめる幕末の様子は、武州一揆や安政の大地震と水害・黒船来航などの資料によって紹介している。

## 第9展示室 明治時代～現代

明治期の埼玉は、政府の富国強兵の方針のもとでの殖産興業政策により、地場産業の近代化と産業基盤の整備を推進した。大正・昭和戦前期になると、大衆運動が盛り上がりを見せたが、昭和恐慌を契機にやがて長い戦争へと突入していき、県民・県土は疲弊した。敗戦後の埼玉は、産業・経済の復興をなしとげ、内陸型の工業県として目覚ましく発展した。ここでは、近代埼玉の歩みを行政・産業・経済を中心に紹介するとともに、昭和30年代の暮らし、地場産業や郷土の発展に貢献した埼玉の人物をより詳細に取り上げている。

## 第10展示室 民俗展示室

民俗展示室は平成29年2月に全面的な展示替えを行い、「水と暮らし」というテーマで埼玉県における「水にまつわる民俗」を紹介している。展示は、「漁の知恵」「水と技の出会い」「水の力」「水と日々の暮らし」の4部構成で、川や湖沼での漁業をはじめ、水に関する産業や行事、祭りに関する資料などを紹介している。また、ミニテーマを設けて展示替えを行うコラム展示や、往時の農家の雰囲気再現した「農家のいろいろ」コーナーもある。

## ■特別展示室

企画テーマに沿った特別展などを開催する展示室である。年数回の特別展・企画展を開催し、毎回好評を博している。企画の内容は、より広い視点から埼玉の歴史と文化を比較・理解できるよう、県内だけではなく、関東あるいは全国を対象を広げてテーマを設定している。

## ■季節展示室

この展示室は、常設展示室と特別展示室を結ぶ場所に位置している。京壁と野外の竹林・石灯籠とが調和して安らぎの場となっている。また、小さな特集展示や特別展のサブ展示室としても活用される。

## ■ゆめ・体験ひろば

「ゆめ・体験ひろば」は、世代間交流ができる体験学習施設で、それぞれに特色ある機能と設備を持つ3つのエリアで構成されており、地域の文化資源を活用した博物館ならではの多様なプログラムを提供している。

### 第1エリア 自由自在座

入館者が多様なハンズオン展示装置を自由に選択し、自在に楽しむ体験展示として、浮世絵版画の工程を体験する「浮世絵スリスリマシン」、歌舞伎などで用いられる擬音楽器を使って楽しむ「日本の音で遊ぼう」、江戸時代の提灯や行灯をのぞき窓から覗く「灯りの今昔」、ヒモを引いて目や口を動かし複雑な仕掛けを理解する「人形芝居」、石臼で米などを挽いて粉にする体験ができる「石臼を使ってみよう」などを設置している。

また、「昔のくらしと道具」のブースは、昭和30年代の農村の住居・町の住居の食卓や道具などの展示を見ながら、昔の生活道具を学べるコーナーとなっている。

さらに、「学び文庫」として調べ学習のための参考図書をゆったり閲覧することができる。

### 第2エリア ものづくり工房

「ものづくり工房」では、郷土に伝わる伝統文化のわざとところを、体験を通して学ぶことができ、藍染めや江戸組紐といった伝統工芸や地場産業をテーマとしたものづくりメニューを、常時数種類体験することができる。通常体験メニューとは別に、藍染めストールや江戸組紐帯締めなど、成人対象の本格的な特別体験メニューも提供している。

### 第3エリア 昭和の原っぱ

屋外広場に、木製電柱や土管、ホーロー看板やスバル360などのディスプレイにより、昭和30～40年代のロケーションを再現したエリアが「昭和の原っぱ」である。

ここでは、ベーゴマやメンコ、フラフープといった昔懐かしい遊び体験コーナーや駄菓子屋を常設するとともに、季節に応じて、「射的遊び」や「ポン菓子作り実演」などのノスタルジックイベントも開催する。

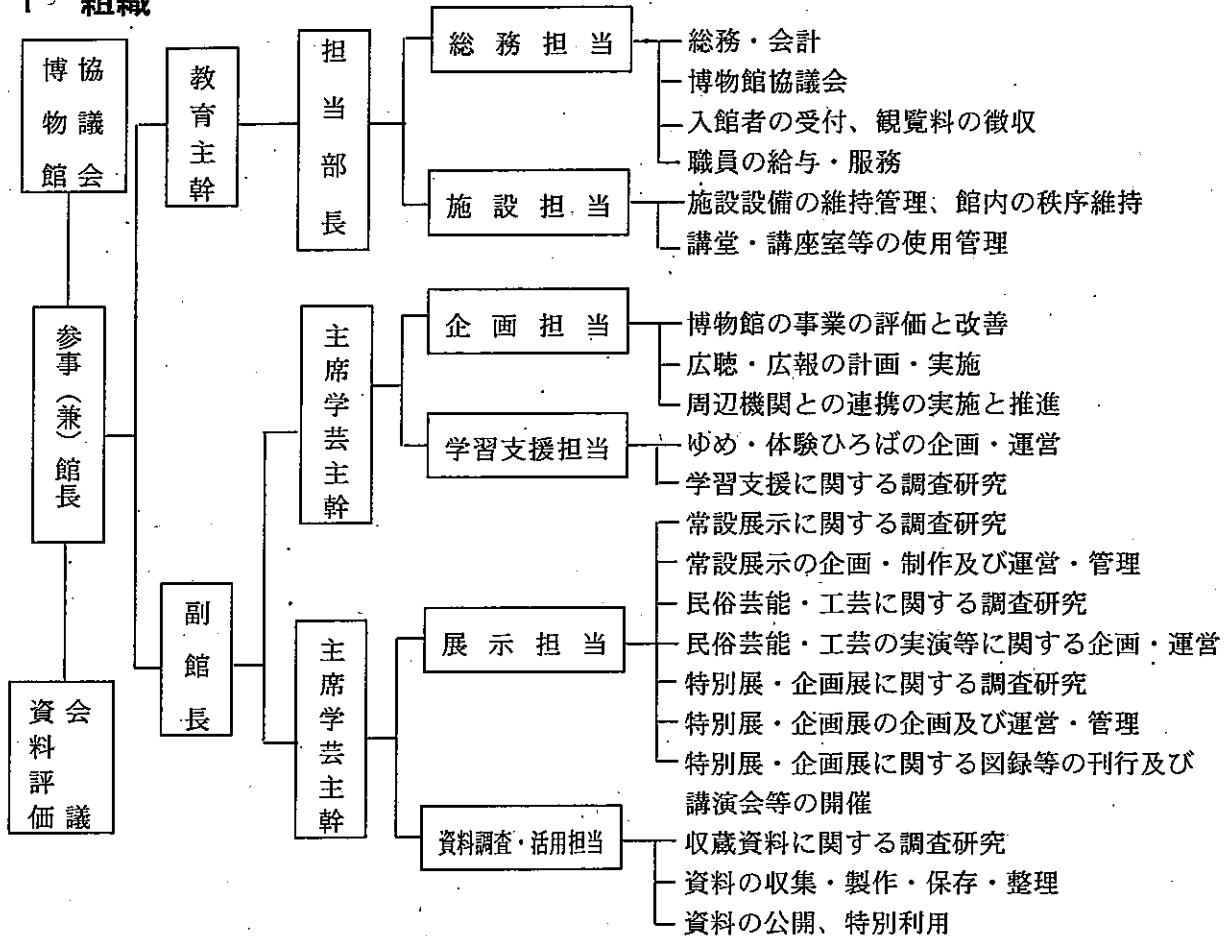
人それぞれに懐かしくもあり、新鮮でもある「昭和の原っぱ」は、かつてガキ大将で鳴らした団塊の世代の大人たちと、IT世代の現代っ子たちが、遊び文化の継承を通じて世代間交流ができる空間を提供している。

このように、特色ある3つのエリアから成る「ゆめ・体験ひろば」では、入館者のもとより、専門分野を担う博物館クルーや体験ボランティアなどが運営のサポートにあたることにより、「だれもが主役になれる博物館」づくりを進めている。

また、各施設は、ユニバーサルデザインに基づき、「誰にもやさしい博物館」として、安全に楽しく見学や体験ができるようになっている。

# 組織及び職員構成 (令和2年4月1日現在)

## 1 組織



## 2 職員名簿

職名	氏名	職名	氏名
参事(兼)館長	小澤 健史	[学習支援担当]	
◎総務、施設担当		主任学芸員	池田 伸子
教育主幹	代島 常造	担当課長	佐藤 昌幸
担当部長	石村 卓也	担当課長	松木 綾真
[総務担当]		主事	徳田 琳愛
主任	川尻 浩之	学芸員	安達 愛史
主事	上野 子平	学芸員	鈴木 一博
主事	庄野 亮能	◎展示、資料調査・活用担当	
嘱托(会計年度)	蝦名 平稔	主席学芸主幹	書上 元博
[施設担当]		[展示担当]	
主任	内藤 伸一	学芸主幹	西根 子史
主任	佐藤 美絵	学芸員	ヶ山 泰陽
主任	大野 繪樹	学芸員	中村 智彦
		学芸員	堀口 優美
◎企画、学習支援、展示、資料調査・活用担当		学芸員	戸辺 正美
副館長	水口 由紀子	主幹(兼)主幹	杉山 司子
◎企画、学習支援担当		学芸員	西町 真歩
主席学芸主幹	岡本 健一	学芸員	井上 未海
[企画担当]		[資料調査・活用担当]	
担当部長	長谷川 晋	学芸主幹	新後 浩文
学芸員	倉澤 由子	学芸員	後藤 知正
学芸員	濱田 翠	主幹(兼)主幹	田中 香智
		学芸員	関 文美

### 3 埼玉県立歴史と民俗の博物館協議会委員名簿

任期 令和2年5月26日から令和4年5月25日まで

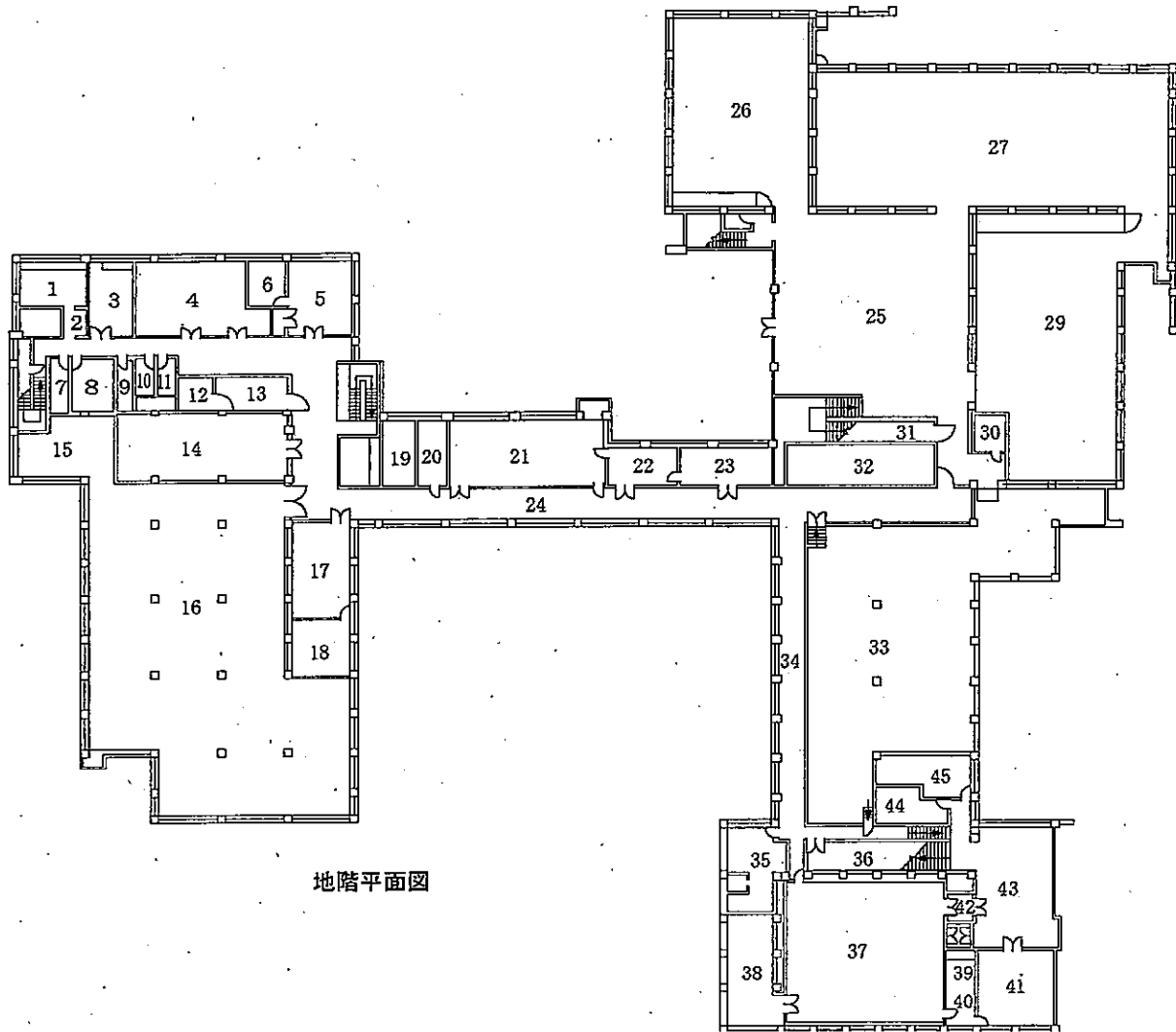
(選出区分別 敬称略 職名等は令和2年4月1日現在)

選出 区分	ふりがな 氏名	職名等
学校教育 関係者	あかみね ひろし 赤嶺 寛	県立所沢西高等学校長
	ときやま くみこ 時山 久美子	鳩山町立今宿小学校長
	なかざと なおき 中里 尚樹	県立東松山特別支援学校長
社会教育 関係者	おおしか よしお 大鹿 良夫	一般社団法人埼玉県子ども会連合会会長
	おおすぎ なおこ 大杉 尚子	埼玉県地域婦人会連合会副理事
家庭教育 関係者	おがわ みよこ 小川 三代子	埼玉県家庭教育振興協議会理事
	たくま ようこ 田熊 陽子	さいたま市立大砂土小学校 学校地域連携コーディネーター
学識 経験者	あさくら なおみ 浅倉 直美	埼玉県文化財保護審議会委員 清瀬市史編さん委員会委員
	あさくら はるみ 朝倉 はるみ	淑徳大学経営学部教授
	いのうえ ともかつ 井上 智勝	埼玉大学大学院人文社会科学研究科教授
	くらかみ のぶお 倉上 伸夫	さいたま市大宮区高鼻町1丁目自治会長
	さの ちえ 佐野 千絵	東京文化財研究所 名誉研究員
	しまの もりお 島野 守夫	テレビ埼玉報道制作局次長
	せきかわ あさこ 関川 亜佐子	レンタル銘仙ショップ経営・秩父銘仙織元 元秩父市地域おこし協力隊
	ねぎし しげお 根岸 茂夫	國學院大學文学部教授 埼玉県文化財保護審議会委員
	はすだ ゆきお 荷田 幸雄	元地方公務員
	まるい あきひろ 丸井 章弘	会社役員

# 施設設備

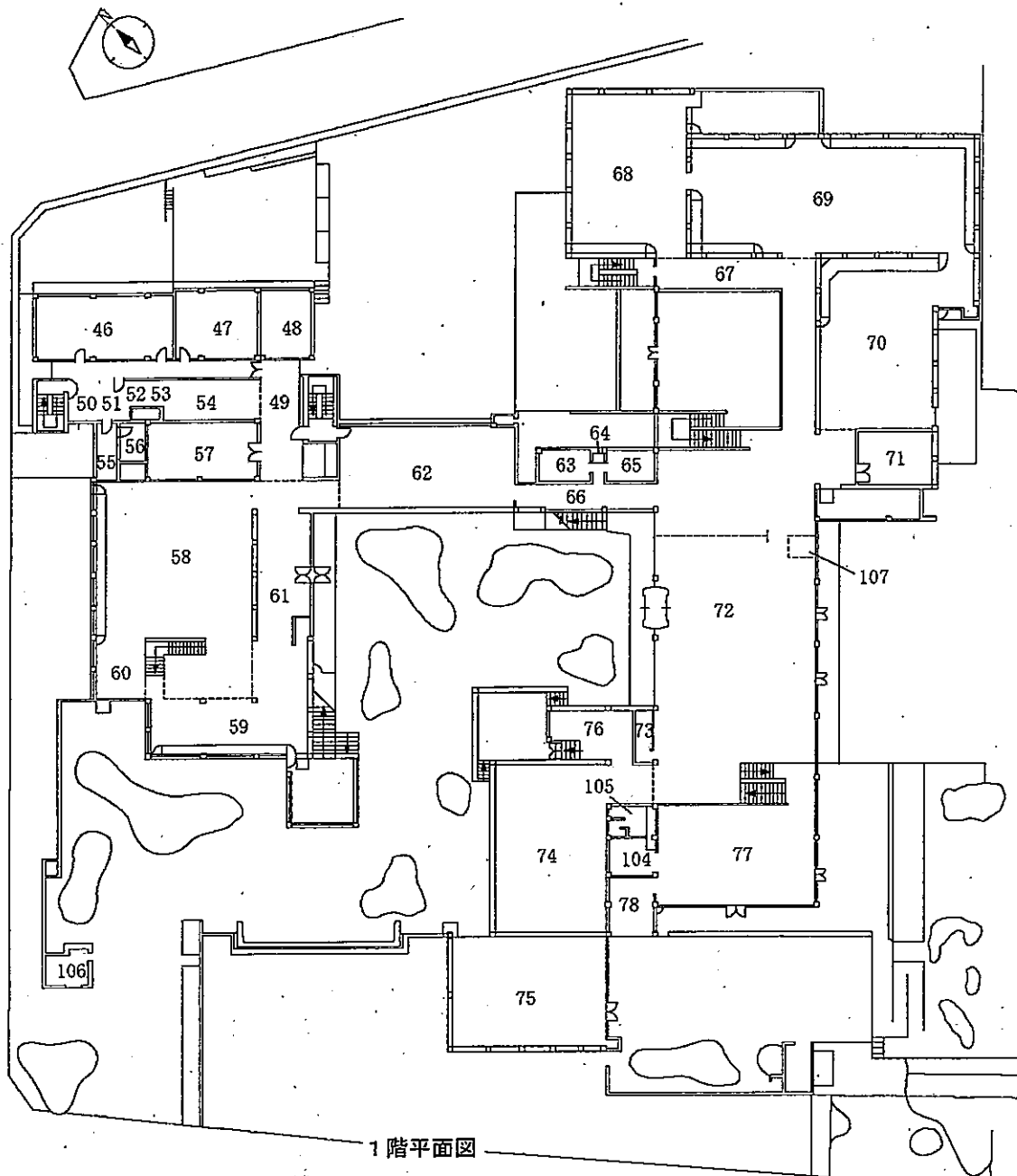
■敷地面積 12,753.71m<sup>2</sup> 延床面積 11,363.93m<sup>2</sup>

## 各室配置図及び各室面積表



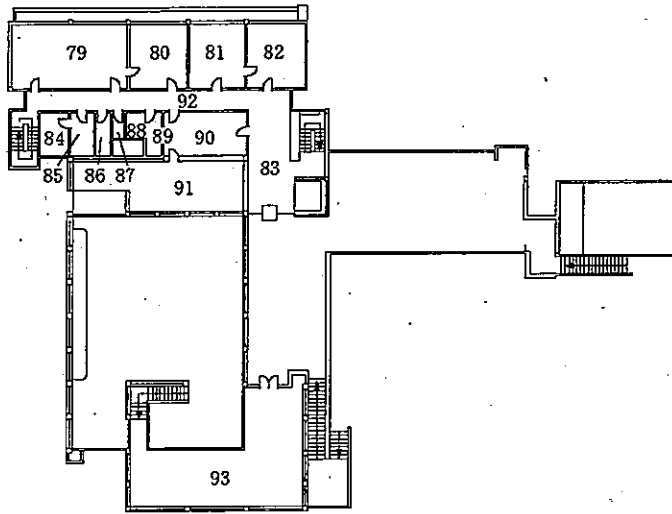
地階平面図

番号	室名	面積m <sup>2</sup>	番号	室名	面積m <sup>2</sup>	番号	室名	面積m <sup>2</sup>
1	休養室	35.84	16	収蔵庫 2	604.80	32	倉庫 1	47.52
2	湯沸室	7.50	17	図書室 2	52.80	33	空調機械室 1	431.44
3	ボランティアルーム	30.24	18	炭酸ガスボンベ室	33.60	34	廊下	94.32
4	資料保存室	79.20	19	消火水槽	21.60	35	旧食堂事務室	43.92
5	スタジオ	40.32	20	消火ポンプ室	14.40	36	旧食堂倉庫	58.32
6	暗室	17.28	21	変電室	86.40	37	講堂	227.52
7	浴室	9.00	22	中央監視室	23.76	38	講堂準備室	51.84
8	控室	11.70	23	発電機室	32.40	39	音響調整室	10.56
9	男子便所	9.00	24	廊下	373.72	40	湯沸室	18.48
10	女子便所	6.12	25	常設展示室 6	367.74	41	講座室	60.48
11	掃除用具室	6.12	26	常設展示室 7	237.60	42	講堂前室	13.20
12	殺虫消毒室 1	10.26	27	常設展示室 8、9	450.72	43	講堂前ロビー	94.56
13	殺虫消毒室 2	28.50	29	常設展示室 10	320.64	44	男子便所	20.12
14	空調機械室 2	94.80	30	常設展示準備室 2	6.00	45	女子便所	28.60
15	収蔵庫 3	46.50	31	常設展示準備室 3	16.50			

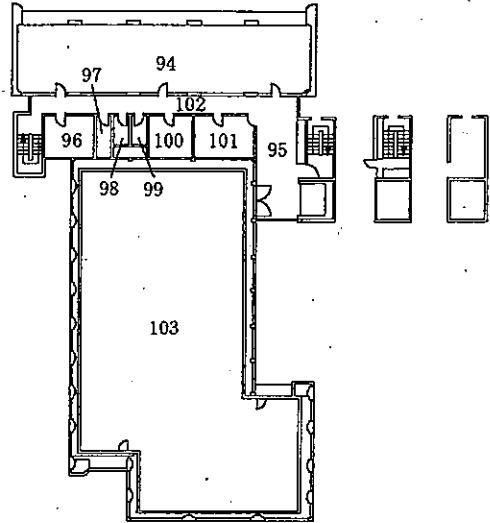


1階平面図

番号	室名	面積㎡	番号	室名	面積㎡	番号	室名	面積㎡
46	管理事務室	108.00	59	特別展示室1	237.60	71	常設展示準備室1	54.06
47	車庫	64.60	60	休憩室	43.20	72	エントランスロビー	712.80
48	荷扱室	43.20	61	特別展示室1の付随室	116.64	73	コインロッカー室	14.40
49	荷解広間	63.36	62	季節展示室	195.84	74	自由自在座	207.36
50	管理棟エントランス	26.88	63	客用男子便所	14.40	75	ものづくり工房	237.60
51	男子便所	9.00	64	みんなのトイレ	7.02	76	ゆめ・体験ひろば準備室	54.48
52	女子便所	6.12	65	客用女子便所	17.18	77	休憩コーナー	207.60
53	湯沸室	3.42	66	廊下	52.48	78	幼児コーナー	37.08
54	荷解梱包室	53.55	67	ギャラリー	144.96	104	自動販売機コーナー	18.47
55	警備員室	16.80	68	常設展示室4、5	237.60	105	倉庫2	8.82
56	救護室	13.20	69	常設展示室2、3	427.68	106	旧正門警備員室	17.55
57	特別展示準備室	72.00	70	常設展示室1	273.18	107	インフォメーション	-
58	特別展示室2	324.00						



2階平面図



3階平面図

番号	室名	面積㎡	番号	室名	面積㎡		
79	会議室	86.40	92	廊下	66.24	延床面積	11,363.93 ㎡
80	資料熟覧室	43.20	93	特別展示室3	151.20	内訳	
81	応接室	43.20	94	学芸事務室	226.80	・展示部門	4,984.38 ㎡
82	館長室	43.20	95	ロビー	51.84	展示室	(3,711.96 ㎡)
83	ロビー	51.84	96	副館長室	26.88	その他	(1,272.42 ㎡)
84	電話交換機室	16.53	97	男子便所	9.00	・収蔵部門	1,416.90 ㎡
85	男子更衣室	10.56	98	女子便所	6.12	・管理部門	4,962.65 ㎡
86	男子便所	9.00	99	湯沸室	3.42	その他	
87	女子便所	6.12	100	調査研究室2	21.12	建築面積	4,529.57 ㎡
88	湯沸室	3.42	101	調査研究室1	26.88	内訳	
89	女子更衣室	10.32	102	廊下	66.24	・本館	4,512.02 ㎡
90	図書室	38.40	103	収蔵庫1	712.80	・旧正門警備員室	17.55 ㎡
91	書庫	94.20					

# 資料

## 1 年度別当初予算一覧

単位：千円

年 度	管理運営費	展示事業費	博物館 資料収集 管理費	ゆめ・体験 ひろば 事業費	常設展示室 展示設備 更新事業費	計
平成21	23,319	26,627	6,200	4,292	—	60,438
22	22,633	27,941	5,830	4,135	—	60,539
23	23,194	36,829	5,436	4,456	—	69,915
24	24,395	33,326	8,646	4,268	—	70,635
25	20,647	41,305	6,233	3,991	—	72,176
26	22,855	39,144	6,327	4,032	—	72,358
27	19,891	50,201	5,881	4,127	—	80,100
28	23,303	37,956	5,886	4,215	—	71,360
29	21,193	43,568	5,888	4,281	—	74,930
30	21,055	37,191	5,752	4,331	5,500	73,829
31 令和元	25,072	38,914	5,949	4,461	5,552	79,948
2	21,954	48,307	4,459	6,241	5,603	86,564

## 2 入館者数の推移

年 度	開館日数	利用人員	1日平均 利用者数	備 考
平成21	184日	90,477人	492	9月14日～2月15日工事休館
22	208日	93,138人	448	11月15日～3月16日休館
23	305日	133,160人	437	
24	310日	126,886人	409	
25	311日	119,953人	386	平成25年7月1日から高齢者の観覧料減免措置廃止
26	310日	135,221人	436	
27	308日	146,203人	475	
28	310日	138,209人	446	
29	309日	142,566人	461	
30	315日	119,103人	378	
31 元	284日	114,175人	402	令和元年10月12日～13日台風のため休館 令和2年2月29日～3月31日感染症防止のため休館

## 3 所蔵資料数(令和2年3月31日現在) 126,268点(+273点)

絵画	(+9点) 1,503点	工芸	(+22点) 1,285点	彫刻	(+1点) 36点	書跡	(+8点) 181点
歴史	(+136点) 48,644点	民俗	(+97点) 68,563点	考古	6,024点	模型	32点



4 特別展・企画展一覧

年度	春	夏	秋	冬
昭和 46			埼玉百年史	
47		縄文の美となぞ	アイヌ文化展	関東の鉄仏
48		寺内萬次郎展	台湾の民具	昔の旅
49		足髭胴と陣笠	東北の美術	小村雪岱展
50	原始の世界	埼玉景勝30選展	斉藤与里展	
51	永田二郎展	埼玉の張り子展	さいたまの肖像展	近代埼玉の書
52	中野四郎作品展		戦国武将展	はにわ展
53	埼玉のやきもの	近世埼玉の文人展	奥原晴湖展	
54	弁当箱にみる用と美		絵馬展	胎内納入品をもつ仏像
55	大久保喜一展		文化財保護法施行30周年記念埼玉の指定文化財展—美術工芸品	板碑展
56		編む	江戸のよそおい	木と漆の原始工芸—寿能泥炭層遺跡出土品展—
57			古代東国の薨	
58			新装開館記念特別展 武蔵武士	荒川の漁具・漁・祖おやの譜録
59	浮世絵	埼玉・岩手文化交流展 北武蔵 杖刀人とその時代	埼玉・岩手文化交流展 縄文の風景—大地と呪術—	江戸の風俗 —絵筆が語る町人文化—
60	宿場	激動の昭和	(外) メキシコの民芸 —太陽と神々の匠たち—	かお
61	古代の祭祀	(外) 古代メキシコ・オルメカ 文明展	海上之邦おきなわ	武蔵ゆかりの武器・武具
62	秩父—繭そして信仰—	収蔵品展	(外) 埼玉県・山西省友好県省 締結5周年記念—山西省文物展	遊びとおもちゃ
63	日本のあけぼの	収蔵品展	さいたまの円空	古墳—かざり大刀の世界— 世界盆栽大会協賛特別企画展 樹盆—その美と歴史—
平成 元年	世界盆栽大会協賛特別企画展 樹盆—その美と歴史— 比企—丘陵に生きた人々の暮らしと文化—	収蔵品展	(外) ケイーンズランド文化展 —姉妹州の4万年の歴史—	酒の文化史
2	さいたまの海 —縄文人からの伝言—	収蔵品展	南蛮の美術 —異国にあこがれた武將たち—	お金百態—寄託資料 埼玉銀行コ レクションを中心に—
3	音のかたち—日本の音を探る—	収蔵品展	開館20周年記念展 さいたま の名宝 国宝・重要文化財	喫茶の考古学—茶の湯再発見— かたどられた折り—木・紙・染の フォークロア
4	かたどられた折り—木・紙・染 のフォークロア	江戸のからくり夢空間—近代科 学事始	はなのいろはうつりにけり な・・・歌仙絵の世界	鯉絵—鯉が踊れば世も動く— つば・かめ・すりばち—中世のや きものと暮らし
5	つば・かめ・すりばち—中世の やきものと暮らし	河童VS天狗 —人と妖怪の交流史—	甦る光彩—関東の出土金銅仏—	奉納された道中アルバム —絵馬にみる寺社参り—
6	相撲—むかしきけち・ぶ殿さへ すまふとり—	子育ての原風景 —カミの子からムラの子へ—	検証! 関東の弥生文化 —一粒の米が変えたくらし—	最新出土品展 さいたま地中からのメッセージ
7	観・天・望・気 —お天気の文化史—	最新出土品展	古代東国の渡米文化	美の匠たち—日本刀をめぐる“わ ざ”の世界—
8	美の匠たち—日本刀をめぐる “わざ”の世界—	最新出土品展	太平記絵巻の世界	歴史を歩く—埼玉の札所めぐり—

年度	春	夏	秋	冬
9	歴史を歩く～埼玉の札所めぐり～	最新出土品展	女帝明正天皇と将軍家光～松平信綱とその時代～	人形と張り子 桜花爛漫
10	桜花爛漫	最新出土品展	女性はにわ～その装いとくさ～	さいたまの鉄道
11	さいたまの鉄道	さいたま最新出土品展 '99	アイヌの四季と生活 ～十勝アイヌと絵師・平沢屏山～	さいたまの名宝シリーズ2 ゆ～お風呂の文化史～
12	ゆ～お風呂の文化史～	最新出土品展	～象がゆく～将軍吉宗と宮廷雅	発掘された日本列島2000・さいたま出土品展
13		発掘調査速報展	埼玉の名宝シリーズ3～神楽の風景～	めざせ日本の近代化 ～日本の産業育てた渋沢栄一～
14	KEMARI～蹴鞠～	発掘調査速報展	開設四百年 中山道～武州往来～	
15		埼玉の名宝シリーズ4 めざめろ古代～新指定の考古資料～	平林寺	銀座復興絵巻
16	銀座復興絵巻	埼玉県発掘調査速報展2004	国宝太刀・短刀と太平記絵巻	羽子板の美とわざ 年中行事絵巻
17	年中行事絵巻	あの遺跡この遺跡～埼玉発掘50年史～	刻まれた鼓動 ～歓喜院聖天堂の彫刻建築～	
18	芸能絵巻～舞い踊り囃す～	天下をまわって1300年 お金がめぐる社会史	由来 伝来 名刀の一千年	祈りの風景 埼玉の絵馬
19	祈りの風景 埼玉の絵馬	博物館発～ちいさな旅～ ～埼玉遊覧案内～	お伊勢さんと武蔵	日本の色彩～藍・紅・紫～
20		埼玉サッカー100年	名もなき至宝～うけつがれし重要有形民俗文化財～	誕生 武蔵武士
21		いただきます～食の文化史～	出張博物館in深谷	雑兵物語の世界
22	雑兵物語の世界	ヒーロー参上	仏教伝来 埼玉の古代寺院	降嫁150年記念 皇女和宮と中山道
23	降嫁150年記念 皇女和宮と中山道	あそび漫遊	円空 ころろを刻む ～埼玉の諸像を中心に～	大名と藩-天下泰平の立役者たち-
24	大名と藩 ～天下泰平の立役者たち～	にほん美術夏期学校	職人のわざとカタ ～商品の誕生～	埼玉歴史街道1 ～『新編武蔵風土記稿』の世界～
25	発掘された木の道具	絵で語る埼玉の民話 ～池原昭治 童絵の世界～	狩野派と橋本雅邦 ～そして近代日本画へ	関東道の遺跡 ～埼玉の発掘調査 西から東から～
26	渋沢敬三没後50周年記念事業 屋根裏部屋の博物館 ～Attic Museum～	にっぽん歴史街道 江戸の街道(みち) ～絵図でだどる宿場と関所～	甞る鉄剣	埼玉の自由民権
27	氷川神社と大宮公園	戦国図鑑 ～Cool Basara Style～	慈光寺 国宝 法華経一品経を守り伝える古刹	
28	蔵出し資料 ～館有コレクションの優品～	高麗郡1300年 ～物と語り～	徳川家康 ～語り継がれる天下人～	祝いの民俗 ～ハレの造形～
29	縄文の空間 ～暮らしと願い～	くらべる古美術 ～見て考える美術のひみつ～	上杉家の名刀と三十五腰	明治天皇と氷川神社 ～行幸の軌跡～
30	田んぼ ～埼玉、人と水の風景～	古文書 大公開! ～みる・よむ・しらべる埼玉～	ダムと変わる! 私たちの暮らし!	埼玉の官衙 ～律令時代の“お役所”～
31 令和元	東国の地獄極楽	北沢楽天と時事漫画	子ども/おもちゃの博覧会	縄文時代のたべもの事情
2	武蔵国の旗本	新収集品展	銘仙	青天を衝け ～渋沢栄一のまなざし～

# 利用案内

## ◆展示室等の観覧について

### 1 開館時間

午前9時から午後4時30分まで（入館は午後4時まで）

※ 7月1日から8月31日までは、午前9時から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）延長。  
ただし、令和2年度については、感染症拡大防止のため夏季の開館時間延長は、実施しない。

### 2 休館日

- (1) 月曜日（ただし祝日及び振替休日は開館）
- (2) 年末年始（12月29日から1月1日まで）
- (3) 館内消毒及び展示替えのため休館（6月8日から6月17日まで及び9月10日から9月11日まで）

### 3 展示解説

- (1) 各展示室では、学芸員、ボランティアが御希望に応じて解説・案内します。
- (2) 団体見学の場合は、10日前までにお申し込みください。

### 4 観覧料

- (1) 常設展示：

一般	300円（200円）	※（ ）内は団体（20人以上）料金
高校・大学生	150円（100円）	
- (2) 特別展・企画展開催期間中は別に定めます。
- (3) 次の方は無料で観覧できます。
  - ① 義務教育修了前（中学生以下）の方
  - ② 障害者の方（身体障害者手帳・療育手帳等の交付を受けている方）
  - ③ 上記障害者の介護の方（障害者一人につき一人）※ 65歳以上の方の観覧料につきましては、条例改正により、平成25年7月1日から一般の方と同額になりました。

### 5 観覧料の免除とその手続き

- (1) 次の場合は、「観覧料等減額（免除）申請書」に、実施計画書等を添付のうえ、観覧日の10日前までに提出していただくことにより観覧料を免除します。
  - ① 教育課程に基づく学習活動やクラブ活動として観覧する幼稚園、保育所園、小・中学生の引率の方
  - ② 教育課程に基づく学習活動やクラブ活動として観覧する高校・大学生・各種学校等の生徒とその引率の方
  - ③ 埼玉県、埼玉県教育委員会、国、他の地方公共団体が開催する歴史と民俗の博物館の資料に関する事業（講演会、講習会、研究会等）を企画した主催（引率）の方
  - ④ 埼玉県又は埼玉県教育委員会が開催する全国会議・ブロック会議・研修会等に参加し、会議又は研修会の日程の一環として観覧する方
- (2) 次の場合は、視察依頼書を提出していただくことにより観覧料を免除します。
  - ① 埼玉県、埼玉県教育委員会、国、地方公共団体又は市町村等関係機関関係者で、歴史と民俗の博物館の事業及び施設設備の視察を目的とした観覧

(3) 次の場合は、インフォメーションにお申し出いただくことにより観覧料を免除します。

- ① 教育課程に基づく学習活動のための下見をする方
- ② 歴史と民俗の博物館に資料を寄贈、寄託している方
- ③ 歴史と民俗の博物館が発行する優待券、招待券、ボランティア登録証をお持ちの方

## 6 問い合わせ先

埼玉県立歴史と民俗の博物館 総務担当  
電話 048-641-0890 FAX 048-640-1964

## ◆講堂・講座室について

### 1 施設の概要

- (1) 講堂 面積 227.52㎡ 収容人員 162人
- (2) 講座室 面積 60.48㎡ 収容人員 30人

### 2 利用料金

種類	項目（貸出単位）	金額
施設 使用料	講堂（1時間）	630円
	講座室（1時間）	160円
附属設備 使用料	音響設備（1回）	110円
	ビデオプロジェクター（1回）	840円

- (1) 附属設備については、利用開始からその日の利用終了までで1回とします。
- (2) 使用料が減額又は免除になる場合があります。詳細についてはお問い合わせください。

### 3 注意事項

- (1) 次の場合、施設の御利用はできませんので、御了承ください。
  - ① 博物館の管理上支障があると認められるとき。
  - ② 公共の福祉を阻害するおそれがあると認められるとき。
  - ③ その他博物館の設置の目的に反すると認められるとき。
- (2) 施設利用を許可するにあたり、必要がある場合は、条件を付したり、制限を加えたりすることがあります。
- (3) 施設を利用できるのは、開館日の開館時間内のみです。
- (4) 利用時間には、準備及び片付けの時間も含まれます。
- (5) 利用を終了したときは、施設の状態を速やかに利用前の状態に戻してください。  
施設や設備を損傷したり、備品等を紛失したり損傷したりしたときは、それを修理し、損害を賠償していただきます。
- (6) 附属設備、長机、予備椅子を利用したい場合は、事前に申し出てください。
- (7) 研究会等で図録等を販売しようとするとき、又は特別の設備等を利用しようとするときは、事前に申し出てください。
- (8) 講堂・講座室は地下1階にあり、エレベーター、スロープ等はありません。  
階段昇降機が設置されておりますので、車椅子で御利用になる場合は、職員が操作いたします。

遠慮なくお申し出ください。

(9) 展示室は有料となりますので、展示室を御利用の際は観覧券をお買い求めください。

#### 4 利用申込み

- (1) 原則として、利用日の属する月の3か月前の初日（その日が休館日である場合にはその翌日）から、利用日の7日前（その日が休館日である場合にはその前日）までに、埼玉県立歴史と民俗の博物館事務室まで「施設等利用（変更）許可申請書」を提出してください（原則として事務室まで直接お越しください。）。空き状況は電話で確認することができます。4月から5月までに使用されるための予約については、受付できない期間があります。
- (2) 予約及び申請の受付時間は、開館日の開館時間内のみです。
- (3) 申請に基づき、「施設等利用（変更）許可書」及び使用料の「納入通知書」を発行します。
- (4) 使用料については、「納入通知書」により、最寄りの金融機関等で納入期限までに納入してください。

#### 5 申込み・問い合わせ先

埼玉県立歴史と民俗の博物館 施設担当  
電話 048-641-0890 FAX 048-640-1964

#### ◆資料の写真原板使用及び資料写真撮影・熟覧について

当館の所蔵資料で写真原板があるものについては有料で御利用いただけます。  
また、保存上などで問題がない資料については、写真撮影・熟覧をお取り扱いいたします。

#### 申込み・問い合わせ先

埼玉県立歴史と民俗の博物館 資料調査・活用担当  
電話 048-645-8171 FAX 048-640-1964

#### ◆資料の寄贈受入について

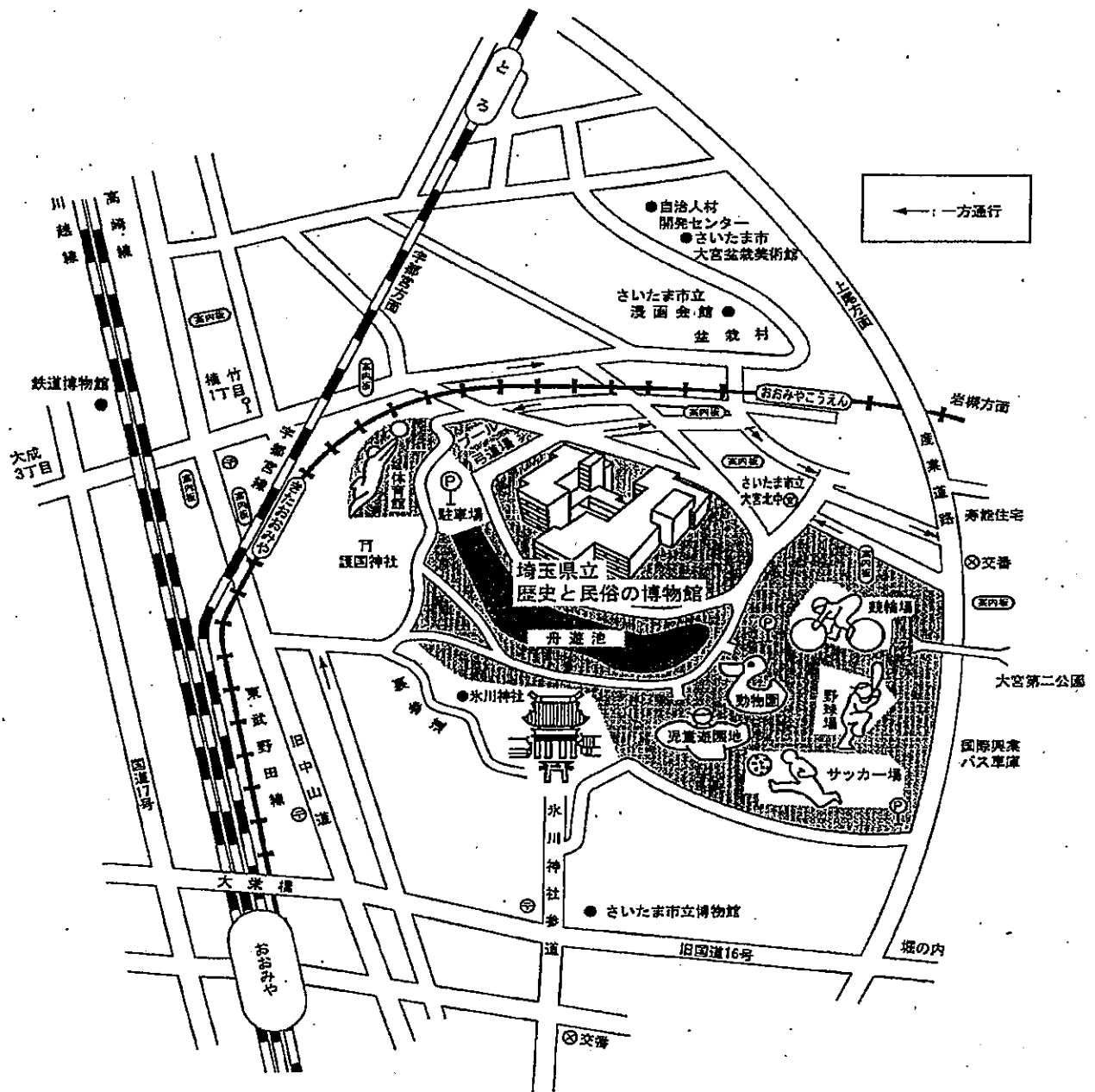
資料の寄贈希望がある場合は、資料調査・活用担当に御一報ください。事前調査をしたのち、書類手続きを行います。その後、資料評価会議に諮り、審議したのち正式に受け入れます。

※ 当館の資料受入基準から外れるもの、すでに同様の資料が収蔵されている場合などは、事前調査をすることなくお断りする場合がありますので御了承ください。

#### 申込み・問い合わせ先

埼玉県立歴史と民俗の博物館 資料調査・活用担当  
電話 048-645-8171 FAX 048-640-1964

【MEMO】



◆交通案内

東武アーバンパークライン<野田線> 大宮公園駅下車 徒歩5分  
 JR宇都宮線 土呂駅下車 徒歩18分



埼玉県のマスコット コバトン

令和2年度 埼玉県立歴史と民俗の博物館要覧（第15号）  
〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4丁目219番地  
TEL 048-645-8171（学芸）  
TEL 048-641-0890（総務・施設）  
FAX 048-640-1964  
ホームページURL <https://saitama-rekimin.spec.ed.jp/>

発行：令和2年7月